

# フィリピンにおける駐在員及び長期出張者用ビザ取得手続

2015年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

マニラ事務所

## ご利用上の注意

本資料では、フィリピン共和国に駐在又は長期出張目的で滞在する予定の日本国民に必要なビザ申請手続等についてまとめております。法改正や運用の変更の頻度が高い分野ですので、実際の申請手続に当たっては、再度、専門家又は関連機関にお問い合わせされることをお勧めします。

ジェットロは提供する資料・データ等の情報及び助言につき、できる限り正確を期するよう努力しておりますが、提供した情報の確認・採否は各人の責任と判断で行って頂いております。万が一、本資料の利用者が不利益を被る事態が発生した場合でも、ジェットロは一切の責任を負いません。

## 目 次

第1章	在留のための手続概観	1 頁
1	駐在員を配置する場合	1 頁
	(1) 拠点設置手続	2 頁
	(2) AEP の申請	4 頁
	(3) ビザの申請	6 頁
	(4) Provisional Work Permit の申請	6 頁
	(5) Alien Certificate of Registration Identity Card の申請	8 頁
2	長期出張者の場合	8 頁
	(1) 無査証で入国する場合	8 頁
	(2) 9(a)ビザを取得して入国する場合	9 頁
3	税務上の留意点	9 頁
	(1) 日本とフィリピンとの間の租税条約	9 頁
	(2) 長期出張者に関する税務上の留意点	9 頁
第2章	ビザの種類及び各ビザの申請手続	11 頁
1	主要ビザの種類及び申請手続	11 頁
2	駐在員が取得するビザ	11 頁
	(1) 9(g)ビザ	11 頁
	(2) 9(d)ビザ	19 頁
	(3) PEZA ビザ (47(A) (2)ビザ)	23 頁
3	長期出張者が取得するビザ (9(a)ビザ)	27 頁
4	その他のビザの概要	31 頁
	(1) Quota Immigrant Visa	31 頁
	(2) Non-Quota Immigrant Visa	31 頁
	(3) 雇用創出者ビザ	31 頁
	(4) Special Resident Retiree's Visa	32 頁
	(5) 多国籍企業の地域統括本部外国人スタッフに対する特別ビザ	32 頁
	(6) 特別投資家居住ビザ	32 頁
第3章	ビザの更新手続	33 頁
1	9(g)ビザ	33 頁
2	9(d)ビザ	35 頁
3	PEZA ビザ	36 頁
4	9(a)ビザ及び無査証の場合	36 頁
	(1) Long-Stay Visitor Visa Extension	36 頁
	(2) 9(a)ビザ及び無査証の場合の従来の更新手続	38 頁
5	AEP	38 頁

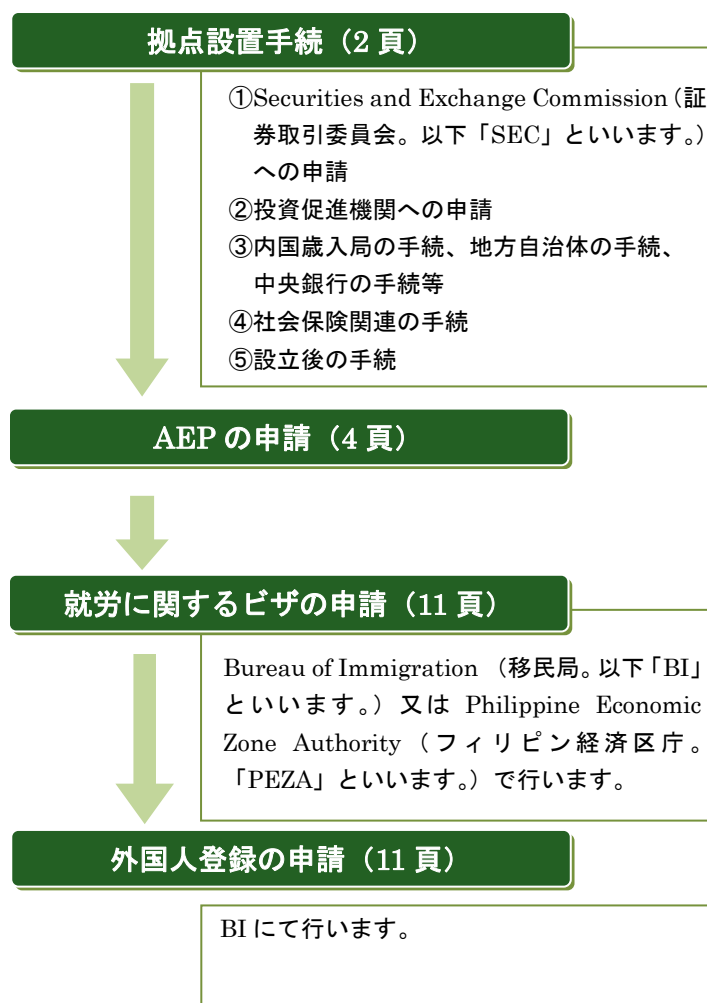
6	ACR I-Card	38 頁
7	ビザ更新手続中の出国について	39 頁
	(1) 9(g)ビザ及び 9(d)ビザの場合 (Grace Period の申請)	39 頁
	(2) PEZA ビザの場合	39 頁
第4章	よくあるトラブル	40 頁
1	発給の遅滞	40 頁
2	パスポートの期限切れ	40 頁
	(1) 在比中にパスポートの有効期限が切れる場合	40 頁
	(2) 日本に一時帰国中にパスポートの有効期限が 6 ヶ月を切ってしまう場合	40 頁
第5章	手続機関一覧	41 頁
1	Bureau of Immigration (BI)	41 頁
2	Department of Labor and Employment (DOLE)	41 頁
3	Securities and Exchange Commission (SEC)	41 頁
4	Philippine Economic Zone Authority (PEZA)	42 頁
5	在日本フィリピン共和国大使館	42 頁
6	在フィリピン日本国大使館	42 頁
第6章	根拠条文	44 頁
第7章	参考書式	49 頁
1	参考書式 1 : AEP の申請内容について掲載された新聞記事の例	50 頁
2	参考書式 2 : AEP 申請書	51 頁
3	参考書式 3 : CGAF	54 頁
4	参考書式 4 : BI の Clearance Certificate 申請書	56 頁
5	参考書式 5 : ACR I-Card 申請書	57 頁
6	参考書式 6 : 9(g)ビザ申請時に提出するレターの例	59 頁
7	参考書式 7 : 9(g)ビザ申請時に提出する雇用主が雇用する外国人労働者の数について記載した書面	61 頁
8	参考書式 8 : 主たる 9(g)ビザ保有者とその雇用主のジョイントレター	62 頁
9	参考書式 9 : PEZA ビザ申請書	64 頁
10	参考書式 10 : 企業の代表者又は CEO からの PEZA 長官に対するレター	67 頁
11	参考書式 11 : 9(a)ビザ申請用非移民査証申請用紙	68 頁
12	参考書式 12 : LSVVE 申請書	69 頁
13	参考書式 13 : ACR I-Card の更新申請書	71 頁

## 第1章 在留のための手続概観

### 1 駐在員を配置する場合

本項では、フィリピン国内の拠点を新たに設置し、現地にて継続的に同拠点の事業に従事する最初の駐在員を配置するという、フィリピン進出の一般的なケースを想定して、一連の手続についてその概要を説明します。フィリピン国内に拠点を設け、駐在員を配置する場合は、その駐在員について Alien Employment Permit (外国人雇用許可証。以下「AEP」といいます。) をまず取得し、次にフィリピン国内での就労を認めるビザを取得するのが一般的です。ここでは、そのような一般的な手続をとるという前提で、拠点設置手続から駐在員着任までに必要な一連の手続の概要をまずチャートでご説明します。

### 会社設立手続



## (1) 拠点設置手続

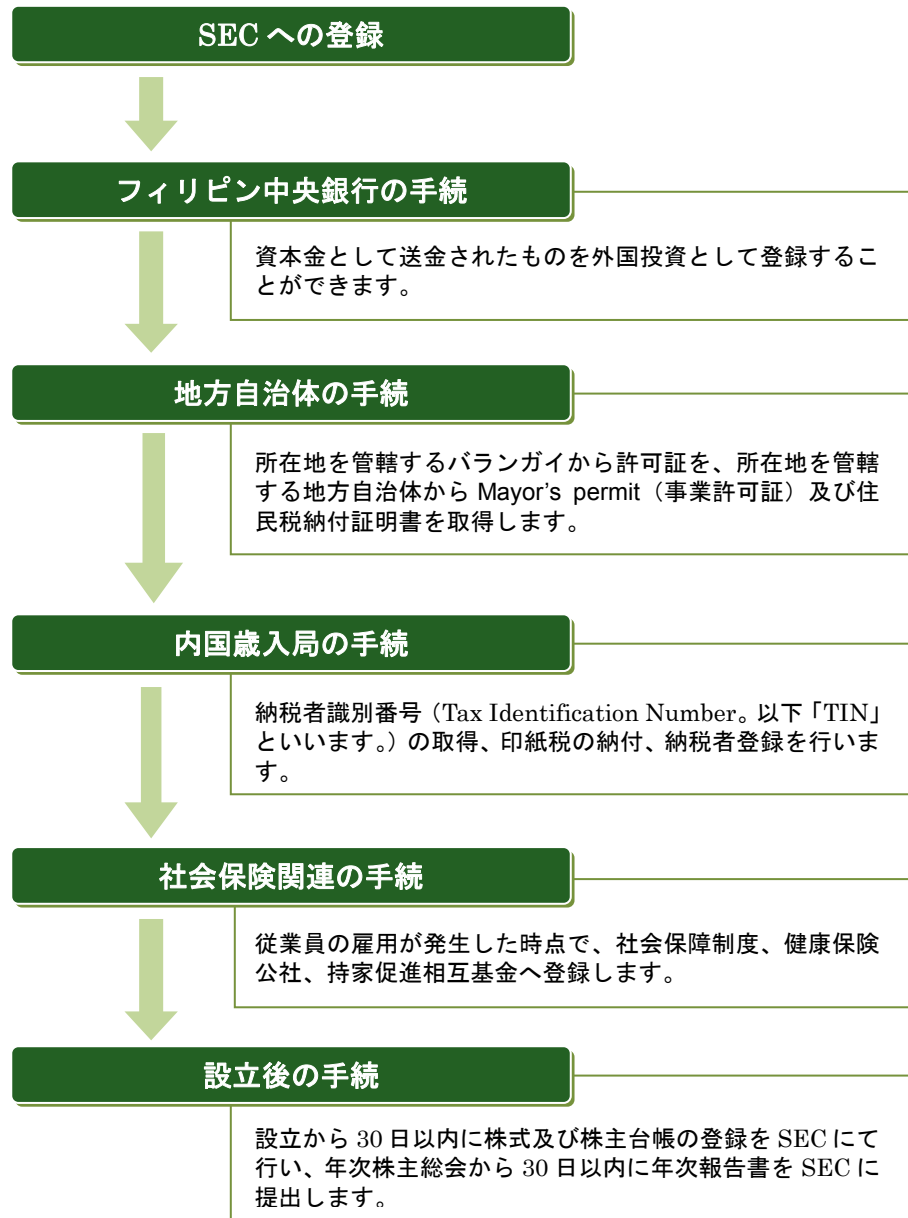
### ア 進出形態

フィリピンに拠点を設置することにした場合、①駐在員事務所、②支店、③100%子会社を含む現地法人といった 3 つの形態が実務的によく利用されています。駐在員事務所とは、あくまで、フィリピン国外の本社とフィリピン国内の顧客との連絡事務所として機能します。具体的には、①本社の製品及びサービスの情報宣伝と販売促進、②市場調査の実施、③フィリピン国内での関連情報の収集がその業務として認められ、駐在員事務所がフィリピンで所得を得ることは認められていません。そのため、駐在員事務所としてビジネスのための契約の締結等はできないこととなります。ただし、事務所の賃貸契約や従業員の雇用契約など、駐在員事務所の管理に関する事項について契約を締結することは可能です。

これに対して、支店及び現地法人の場合は幅広い事業活動が認められ、両者ともフィリピン国内で所得を得ることが可能です。ただし、外国投資法に基づき、フィリピン資本が保有している企業にのみ許可される活動など、従事を許可されていない事業活動も存在します。

支店を通じてフィリピンで事業を行う場合、日本の本店も事業上の債務の責任主体となること等から、フィリピンへの進出を検討する場合は、現地法人を設立することが多いと考えられます。現地法人の場合の拠点設置手続について簡単にご説明しますと、次頁に記載したとおりとなります。

## 拠点設置手続



## イ 投資促進機関への申請

フィリピンには、PEZA や Board Of Investment (投資委員会。以下「BOI」といいます。) など複数の投資促進機関があり、このような投資促進機関に登録を行うことにより、税務上の優遇を含む各種優遇措置を受けることができます。なお、登録申請に先立つ事前相談等は拠点設置前から可能ですが、具体的な申請は拠点が SEC に登録されてからとなります。

PEZA や BOI への登録申請は、いずれも、申請に必要な書面 (申請書の他に、SEC 登録に関する書面や財務諸表等) を申請手数料とともに PEZA や BOI に提出して行います。この申請に対して PEZA や BOI での承認が得られた後に、登録手数料を支払い、正式な登録を行うこととなります。

具体的な必要書面又は申請手続は申請企業の業種等によって異なりますのでご注意ください。申請手数料及び登録手数料も申請企業の業種等によって異なりますが、それほど高額ではなく、例えば、IT 系の業種に関する PEZA 登録の場合は申請手数料が 4,000 ペソ程度、登録手数料が 6,000 ペソ程度となります。

## (2) AEP の申請

### ア AEP の概要

フィリピンにおいて雇用される予定のある外国籍の者は、AEP を取得しなければなりません。この AEP はビザとは別のものですので、ビザの種類にかかわらず、該当する者は申請・取得する必要があります。特に、後で説明する 9(g)ビザ、9(d)ビザ及び PEZA ビザについては、申請の際に AEP のコピーを提出しますので、申請を行う前に AEP を取得しておく必要があります。

なお、以下の者については、AEP の取得を免除されています。

- ① フィリピン政府が認める外交官及び外国政府の職員
- ② フィリピン政府がメンバーとなっている国際機関の職員及びその配偶者
- ③ 会社の取締役会のメンバーとして選任された外国人で、その他の地位を持たず、その会社での投票権のみを持つ者
- ④ Philippine Overseas Employment Administration (フィリピン海外雇用庁) に認定された会社のオーナー又は社長の代理人で、フィリピンに限られた期間、海外勤務を希望するフィリピン人の面接を行う目的のために滞在する者
- ⑤ 一定の条件のもとフィリピンの大学等に教育又は調査研究の目的で滞在する者
- ⑥ 外国人永住者又は仮居住ビザの保有者
- ⑦ その他法律で免除された外国人

したがって、本稿が想定するようなケースにおける現地法人の駐在員の場合は、基本的に AEP の取得が必要となると考えて下さい。



## イ 申請方法

AEPの申請は、申請者本人又は雇用主が、Department of Labor and Employment（労働雇用省。以下「DOLE」といいます。）に必要書類を提出して行います。DOLEのオフィスには、主要都市に所在するRegional Officeと、地方に所在する出張所であるField Officeの2種類があり、AEPの申請はいずれのオフィスでも可能です。ただ、通常はマニラ周辺で申請を行う場合が多いため、Regional Officeを利用する例が多いようです。

書類等に不備がなければ、申請を行った会社名、被用者名及び被用者の職務などが新聞に掲載され（参考書式1）、第三者による意見又は異議申立ての機会が設けられます。この新聞掲載の手続はDOLEによって行われますので、申請者側で独立して手配を行う必要はありません。その後、DOLEのウェブページによれば、Regional Officeにて申請を行った場合はAEPの申請について掲載された新聞の発行から24時間以内にAEPが発行されると説明されています。ただし、実際には、AEPの申請について掲載された新聞の発行からAEPの発行まで、2、3日かかる場合が多いようです。

なお、フィリピンの憲法に基づき、フィリピン国内における専門的業種は基本的にフィリピン国民のみが従事可能となっています。そのため、AEPや後に説明する9(g)ビザ申請の際に、申請者の職業としてエンジニアや建築家など専門的職業が記載されている場合、DOLEやBureau of Immigration（移民局。以下「BI」といいます。）から追加の質問をされることがあるようです。この点を踏まえて、AEPや9(g)ビザ申請時の申請者の職業は、役員、シニアマネージャー、幹部、相談役など、専門性を排した記載の仕方が望ましいといえます。

AEPの有効期間は、付属定款に記載のある役員等の場合は発行から1年間、それ以外の場合は基本的には雇用期間と同じ期間となります（ただし、5年を超えない期間とされています）。発行手数料は、有効期間1年の場合は8,000ペソですが、それを超える場合、1年追加されるごとに3,000ペソずつ追加され、その合計が発行手数料となります。

なお、外国人の勤務開始から15日以内にAEPの申請手続をする必要があり、これを怠ると、会社及び当該外国人にそれぞれ1万ペソの罰金が科されることとなります。

AEPの更新については、各種更新手続の章でご説明します。

## ウ 必要書類

AEP取得のために必要な書類は以下の通りです。

- ① 記入済み申請書（参考書式2）
- ② 申請者の顔写真
- ③ 申請者のパスポートの写し
- ④ 雇用契約書又はアポイントメントレター、会社役員等の場合は選任に関する議決書
- ⑤ 会社についての地方自治体発行の営業許可証（PEZAなど経済特区に入居する企

業の場合は、当該経済特区への入居を証明する書類)

(3) ビザの申請

個別のビザの取得手続の説明等は第2章に譲ります。

(4) Provisional Work Permit (仮就労許可証。以下「PWP」といいます。)の申請

PWPとは、仮の就労許可証であり、BIが発行します。具体的には、就労ビザ申請者がその発行を待っている間もフィリピン国内での就労を可能にする許可証になります。BIで就労ビザへの変更の申請を行った者で、発行までにかかる期間もフィリピン国内で就労したいと考えている場合はこのPWPを取得しなければなりません。PWPの有効期間は3ヶ月又は就労ビザが発行されるまでの期間で、先に満了した方と定められています。

法人が雇用主の場合の必要書類は以下の通りです<sup>1</sup>。

- ① BIの検査官に宛てた申請者及び雇用主のジョイントレターで、申請者の給与又は報酬にかかる税金について差し引いた上で支払うこと及び提出する書類は全て合法的に関連政府機関から取得されたものであることを保証する記載のあるもの
- ② 記入済みの Consolidated General Application Form (共通申請書。以下「CGAF」といいます。)(参考書式3)
- ③ 申請者のパスポートのデータページ及び有効な滞在期間が残存していることを示すページの写し
- ④ 申請者が TIN を保有していることを示す書類
- ⑤ AEP を申請したことを示すオフィシャルレシートの写し又は AEP の写し
- ⑥ 申請者に支払われる給与／報酬を明記した雇用契約書の写し
- ⑦ BI 発行の Clearance Certificate (BI が発行する、申請者が不敬な行為を過去にしていないことを確認する書面です。BI に参考書式 4 の申請書を提出するとすぐに発行されます。)
- ⑧ SEC 発行の会社登記簿
- ⑨ 会社の定款
- ⑩ SEC の受領印付き年次報告書 (GIS)
- ⑪ 申請者の顔写真

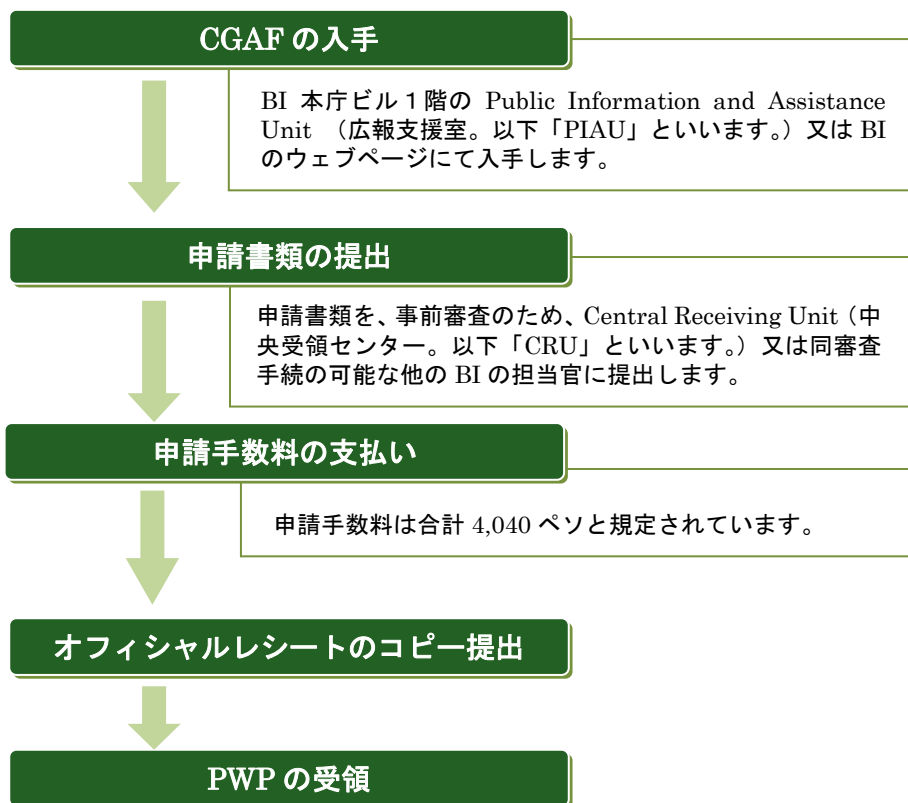
---

<sup>1</sup>なお、BIのウェブサイトには、申請に当たっての一般的な留意事項や必要書類について説明したチェックリストが掲載されています。

<http://www.immigration.gov.ph/images/SERVICESFORMS/SPECIALPERMITS/2PWP/2014-12-025%20Rev%200%20Provisional%20Work%20Permit%20PWP.pdf>

PWP の申請から受領までの手続は以下の通りです。

### PWP 申請手続



(5) Alien Certificate of Registration Identity Card (外国人登録証。以下「ACR I-Card」といいます。) の申請

ACR I-Card とは、個人の情報、発行されたビザのタイプ、入国日や生体認証情報が組み込まれたマイクロチップ入りの外国人登録証です。フィリピンに 59 日以上滞在する外国人には、この ACR I-Card の取得が義務づけられています。また、滞在期間が 59 日に満たない場合であっても、自発的に ACR I-Card の取得をすることが可能です。

ACR I-Card の取得申請は BI に対して行いますが、BI によれば、ACR I-Card の申請はビザの申請を行う際に併せて行うことになっていますので、BI にてビザの申請を行う場合は、ビザ申請の際に ACR I-Card の申請書類も持参して提出するようにしましょう。

発行される ACR I-Card の有効期間は基本的には保有するビザの期間と一致した期間になります。

ACR I-Card の申請書類は以下の通りです<sup>2</sup>。

- ① 記入済み申請書 (参考書式 5)
- ② パスポートの情報ページ、ビザページ及び入国記録があるページの写し
- ③ 申請料を支払ったことを示すオフィシャルレシート
- ④ 申請者の顔写真

## 2 長期出張者の場合

日本企業の社員が、ビジネス目的でフィリピンに出張ベースで長期滞在する場合、取り得る手段は滞在期間に応じて以下の 2 種類あります。いずれの場合もフィリピンにおいて雇用されるものではないため、AEP の取得は不要です。

### (1) 無査証で入国する場合

日本国民であれば、会議への出席、企業間のミーティング、ワークショップやセミナーなどの目的で短期滞在する場合、①有効な往復航空券又は第三国へ出国する航空券を有しており、②パスポートの有効期限が滞在日数プラス 6 ヶ月以上ある場合、フィリピンに入国する際にビザは不要となり、最大 30 日間の滞在が許可されます。また、入国後に BI にてその滞在期間の延長を申請することも可能です。

---

<sup>2</sup>なお、BI のウェブサイトには、申請に当たっての一般的な留意事項や必要書類について説明したチェックリストが掲載されています。

<http://www.immigration.gov.ph/images/FORMS/Checklist/4AlienRegistration/2.%20CDR%20ACR%20I-Card%20Issuance.pdf>

## (2) 9(a)ビザを取得して入国する場合

あらかじめ日本国内で短期滞在ビザ（通称 9(a)ビザ）を取得して入国することも考えられます。このビザを取得すれば、最初から 59 日間の滞在が許可され、その後の延長も可能です。同査証の取得要件・手続については後の章でご説明致します。

なお、無査証で入国した場合も、9(a)ビザを取得している場合も、後の章で説明する LSVVE という手続によって日本国民であれば最大 3 年まで滞在の延長が可能です。そのため、無査証での入国が認められている日本国民の場合は、敢えて 9(a)ビザを事前を取得するメリットは多くないと言えるかもしれません。

## 3 税務上の留意点

### (1) 日本とフィリピンとの間の租税条約

日本企業がフィリピンに進出する際には、フィリピンの税法に注意することが重要です。また、日本とフィリピンの税法に照らした場合、双方の国において課税されることとなる可能性は否定できませんが、その場合における二重課税の弊害を防止するために日本とフィリピン間で締結された「所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とフィリピン共和国との間の条約」(2006 年の改正議定書による改正を踏まえた内容を指します。以下「日比租税条約」といいます。) が締結されていますので、日比租税条約の適用の有無についても、検討することが必要となります。

### (2) 長期出張者に関する税務上の留意点

子会社などフィリピンに拠点を設ける場合は、当該拠点は原則としてフィリピンにおける恒久的施設（**Permanent Establishment**。以下「PE」といいます。）とみなされることとなるため、フィリピン国内で発生した所得についてはフィリピンの税法の適用を受け、フィリピンでの納税が必要となります。

これに対し、フィリピンには拠点を設けずに従業員等の出張を通じてフィリピンで業務を行う場合であっても、PE 認定がなされ、フィリピン国内で発生した所得について、フィリピンの税務当局から課税がなされる場合があります。日比租税条約第 5 条第 6 項に該当する場合がそれであり、「使用人その他の職員」「を通じてコンサルタントの役務又は建築、建設若しくは据付工事に係る契約に関連する監督の役務を提供する場合」であって、「このような活動が単一の工事又は複数の関連工事についていずれの 12 箇月の間に合計 6 箇月を超える期間行われるとき」には、PE 認定がなされ、フィリピンでの納税義務が発生します。

同条の「コンサルタントの役務」が、広くコンサルタント一般を指すのか、それともあくまで建築等の工事に関するコンサルタントに限定されるのか、条文上分かりにくいですが、少なくともフィリピンの課税実務においては、建築等の工事に関するものに限定されず、広くコンサルタント一般を含むと考えられております。実際にも、建築等の

工事に関係しないコンサルタント役務に関して同条を根拠に PE 認定がされた事例が存在します。そのため、日本企業からの出張者がコンサルタント業務を行う場合、その日数に応じて、日本企業に対してフィリピンでの PE 認定がなされる可能性があることには注意が必要です。

なお、「6 箇月」の算定方法につきましては、建築、建設、また、継続的な活動に関する場合は 180 日（30 日×6）で算定しますが、サービスの提供等、継続的ではなく、短時間で終了する活動に関する場合は 183 日で計算するのが、フィリピンの課税実務となっております。

現時点でのフィリピンの課税実務は上記のとおりとなりますが、これらの PE 認定に関しましては議論もあるところであり、今後運用の見直し等がなされる可能性がございますので、最新の動向を常に確認し、できる限り保守的に活動を行うべきと考えられます。

## 第2章 ビザの種類及び各ビザの申請手続

### 1 主要ビザの種類及び申請手続

フィリピンにビジネス目的で滞在する場合、取得する可能性があるビザとしては、以下の表の通り、10種類のビザが挙げられます。

それぞれ利用目的によって分類されますが、フィリピンにビジネス目的で駐在員として又は長期出張者として滞在する場合は、この10種類のうち、9(g)ビザ（正式には、Pre-arranged Employment ビザと呼ばれています。）、9(d)ビザ、PEZA ビザ及び9(a)ビザの4種類が主に利用されます。特に、駐在員は9(g)又はPEZA ビザを取得するケースが大多数です。本稿ではこの4種類のビザについて、大きく①駐在員が取得するビザと②長期出張者が取得するビザに分類し、それぞれの概要、取得要件及び申請手続についてご説明します。その後、その他の6種類についても簡単にご紹介します。

対象者	ビザの種類	該当頁数
駐在員向け	9(g)ビザ（雇用ビザ）	11 頁
	9(d)ビザ（条約貿易者ビザ及び条約投資家ビザ）	19 頁
	PEZA ビザ（フィリピン経済区庁登録企業の従業員に対するビザ）	23 頁
長期出張者向け	9(a)ビザ（短期滞在ビザ）	27 頁
その他のビザ	Quota Immigration Visa（割り当て移民ビザ）	31 頁
	Non-Quota Immigration Visa（非割当移民ビザ）	31 頁
	雇用創出者ビザ（Special Visa for Employment Generation / SVEG）	31 頁
	Special Resident Retiree's Visa（特別居住退職者ビザ）	32 頁
	多国籍企業の地域統括本部外国人スタッフに対する特別ビザ（多国籍企業ビザ）	32 頁
	特別投資家居住ビザ（Special Investor's Residence Visa / SIRV）	32 頁

### 2 駐在員が取得するビザ

#### (1) 9(g)ビザ

ア ビザの概要

イ 取得要件ほか

フィリピン国籍以外の者が、フィリピン国内で報酬を伴う職に就く場合やその他有償の労働が生じる場合に取得するビザです。さまざまな職種に従事する者が申請できますが、雇用主と申請者との間に真正な雇用関係が存在することが必要です。その有無は、①被用者（申請者）の選考過程及び被用者との契約の内容、②賃金の支払いの有無、③雇用主による解雇が認められるか、及び④業務遂行の方法や手順について雇用主に被用者を管理監督する権限が認められるか、といった要素に基づき判断されます。また、このビザを受けるには、申請者の行う業務がフィリピン人では従事が難しい業務であり、且つ、それがフィリピンの公共の利益に資することが必要で、その旨 BI から認められる必要があります。

本ビザは通常、3年を超えない期間で、申請者の雇用期間に相当する期間を有効期間として発行され、必要に応じて更新可能です。

また、本ビザは、主たるビザ申請者に同伴する、又は、主たるビザ申請者のビザ認可の日から6ヶ月以内にフィリピンに入国する配偶者及び未婚の子女（21歳未満）にも発行されます。

#### (イ) 活動の範囲

フィリピン国内で、報酬を得る職に就労することや、その他、雇用主・被用者の関係が発生する有償の労働に従事することができます。ただし、申請の際に申立人となる雇用主における就労に限定されます。

#### (ウ) 根拠法

Commonwealth Act No. 613 [The Philippine Immigration Act of 1940]（フィリピン移民法。以下「移民法」といいます。） 9条(g)及び20条

#### イ 駐在員本人の申請書類及び申請手続

9(g)ビザは、①無査証又は9(a)ビザで一旦入国してから BI にて9(g)ビザへの切り替え申請を行う方法、又は、②日本のフィリピン大使館で申請をする方法のいずれの方法によっても取得可能です。ただし、日本のフィリピン大使館がビザを発行するには、まず、雇用者の申請を受けたフィリピンの BI が9(g)ビザの申請書類の審査を行った上でビザ発行許可を出し、その許可がフィリピン外務省を通じて大使館に送付され、その後に申請者本人がフィリピン大使館にて必要書類を提出するという手順を踏むため、極めて時間がかかります。そのため、フィリピン国内で9(g)ビザに切り替えるという①の方法が②の方法に比べて手続面で簡易かつ所要時間も短いということもあり、9(g)ビザの取得を希望する場合は①の方法を選択するのが一般的です。そこで本稿では、フィリピン国内で9(g)ビザに切り替える場合の申請書類及び手続についてのみ以下ご説明します。



なお、取得要件の箇所でもご説明しましたが、本ビザの申請が認められるためには、申請者がフィリピン人では従事が難しい業務を遂行する予定であること、且つ、それがフィリピンの公共の利益に資することが必要ですが、その点について、十分且つ説得的な証拠をもって証明することが求められます。必要書類の作成にあたっては、この点を意識するようにしましょう。

また、フィリピンの憲法に基づき、専門的な業務はフィリピン国内では基本的にフィリピン国民のみが従事可能なことになっています。そのため、AEP や 9(g)ビザ申請の際に、申請者の職業としてエンジニアや建築家など専門的なものが記載されている場合は、DOLE や BI から質問を受けることがあるようです。この点を踏まえて、AEP や 9(g)ビザ申請の際は、申請者の業務は、役員、シニアマネージャー、幹部、相談役など、専門性を排した記載の仕方が望ましいようです。

#### (7) 申請書類<sup>3</sup>

- ① BI の検査官に宛てた、申請者と申立人（雇用主）のジョイントレターで、提出する書類は全て合法的に関連政府機関から取得されたものであることを保証する旨記載したもの（参考書式 6）
- ② 記入済みの CGAF（参考書式 3）
- ③ 申請者のパスポートのデータページ並びに直近のフィリピン入国記録及び申請日から最低 20 日以上滞在期間が残存していることを示すページの写し
- ④ 申請者の履歴書（学歴、職歴及び学位を明記したもの）
- ⑤ 認証付き雇用契約書の写し、又はそれに準じた書類（任命書、選任書など）で、申請者に支払われる報酬の金額と詳細、雇用期間及び会社内での申請者の職務の性質・領域について詳述したもの
- ⑥ SEC 発行の会社登記簿
- ⑦ 会社の定款
- ⑧ SEC の受領印付き年次報告書（GIS）（なお、新設会社で年次報告書の用意ができない場合は、SEC 発行の Certificate of Incorporation（設立証書）を提出します。）
- ⑨ 雇用主の直近の所得税申告書（ITR）及び納税証明書（領収書、銀行の伝票、国税庁の eFPS の支払明細のプリントアウト、又はそれに準じた納税を証明するもの）

---

<sup>3</sup>なお、BI のウェブサイトには、申請に当たっての一般的な留意事項や必要書類について説明したチェックリストが掲載されています。

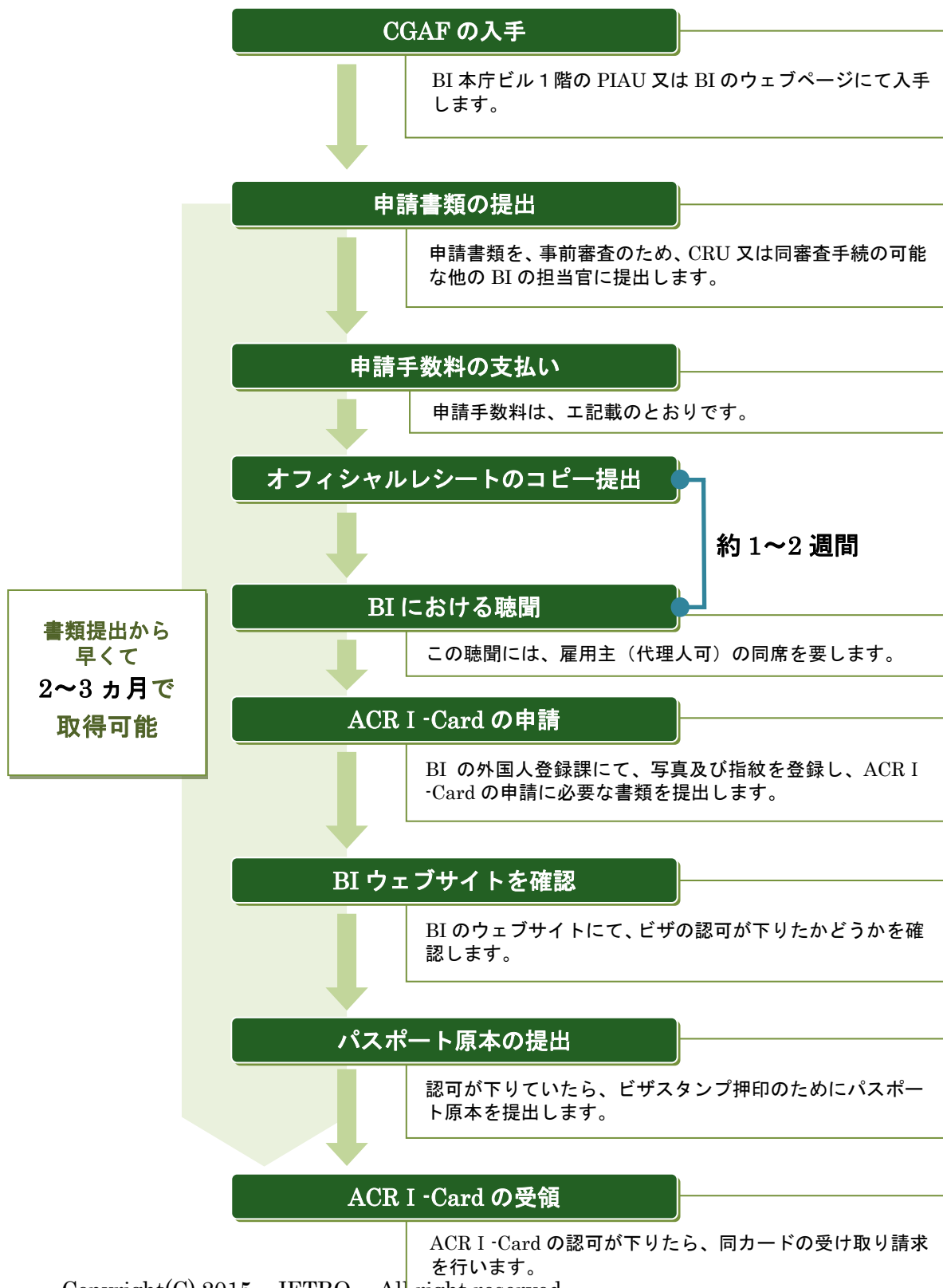
<http://www.immigration.gov.ph/images/FORMS/Checklist/2NonImmigrant/2014-12-014%20Rev%201%20Conversion%20to%20Pre-arranged%20Employee%20Visa%20Commercial.pdf>

- ⑩ 申請者の納税者識別番号(TIN)を証明する書類(この TIN は、Bureau of Internal Revenue (内国歳入局) 又は同局のウェブサイトで申請できます。滞在ビザを保有していなくても取得可能です。)
- ⑪ DOLE 発行の AEP の写し
- ⑫ AEP 発行について掲載された新聞記事 (原本ないし DOLE 又は発行人による認証付写し) (参考書式 1)
- ⑬ 雇用主が雇用する外国人労働者の数について記載した書面 (2015 年 2 月より必要になった新たな書面です。) (参考書式 7)
- ⑭ BI 発行の Clearance Certificate (BI が発行する、申請者が不敬な行為を過去にしていないことを確認する書面です。BI に参考書式 4 の申請書を提出するとすぐに発行されます。)
- ⑮ 申請者の顔写真

(イ) 申請手続

9(g)ビザの申請は、ACR I-Card の申請も含め、全て BI にて行います。記入済みの CGAF 及び全ての必要書類を事前審査のために提出し、書類に不備がないか確認を受けます。不備がなければ、提出した書類はそのまま受け付けられます。次に申請手数料を支払うと、その支払いを示すレシート及びそのコピーが発行され、同レシートに BI において聴聞を受ける日時が記載されています。聴聞は、必要書類の提出及び申請手数料の支払いから約 1~2 週間後に設定されます。聴聞を雇用主又はその代理人と受けた後は、BI のウェブサイトでビザの認可が下りたかどうかを確認し、下りていればパスポートの原本を提出してビザスタンプの押印を受けることになります。申請手続の流れを示した次頁のチャートもご参照下さい。

## 9(g)ビザ（雇用ビザ）申請手続



ウ 配偶者又は 21 歳未満の未婚の子女の申請書類及び申請手続

(ア) 申請手続

前述の通り、9(g)ビザは、主たるビザ申請者に同伴する、又は、主たるビザ申請者のビザ認可の日から 6 ヶ月以内にフィリピンに入国する配偶者及び未婚の子女（21 歳未満）にも発行されます。配偶者及び子女の手続については 2 種類あり、主たるビザ申請者に同伴して入国するか、遅れて主たるビザ申請者のビザ認可の日から 6 ヶ月以内に入国するかによって異なります。前者は **Joint Application** と呼ばれ、後者は **Inclusion of Dependent** と呼ばれる手続になります。**Joint Application** の場合も **Inclusion of Dependent** の場合も、手続の流れ自体は主たるビザ申請者／保有者のものと同じですが、以下の通り必要書類が若干異なります。また、**Joint Application** の場合は、主たるビザ申請者の申請書類と併せて BI に提出することになります。

(イ) 申請書類

(i) **Joint Application** の場合

- ① 記入済みの CGAF（参考書式 3）
- ② パスポートのデータページ及び直近のフィリピン入国記録の写し
- ③ 出生証明書や戸籍謄本、又はそれに準じた、申立人（主たる 9(g)ビザ保有者）との関係を示す書類（英訳の上、フィリピン大使館又は領事館にて認証を受ける必要があります。）
- ④ BI 発行の **Clearance Certificate**（BI が発行する、申請者が不敬な行為を過去にしていないことを確認する書面です。BI に参考書式 4 の申請書を提出するとすぐに発行されます。）
- ⑤ 申請者の顔写真

(ii) **Inclusion of Dependent** の場合<sup>4</sup>

- ① BI の検査官に宛てた、主たる 9(g)ビザ保有者とその雇用主とのジョイントレター（参考書式 8）
- ② 記入済みの CGAF（参考書式 3）
- ③ 主たる 9(g)ビザ保有者のパスポートのデータページ、入国記録のページ及び有効な滞在期間が残存していることを示すページの写し
- ④ 主たる 9(g)ビザ保有者の ACR I-Card の裏表写し
- ⑤ 申請者のパスポートのデータページ及び入国記録のページの写し

---

<sup>4</sup>なお、BI のウェブサイトには、申請に当たっての一般的な留意事項や必要書類について説明したチェックリストが掲載されています。

<http://www.immigration.gov.ph/images/FORMS/Checklist/2NonImmigrant/Inclusion%20of%20Dependent%20-%20Pre-Arranged%20Employee.pdf>

- ⑥ 配偶者の場合は結婚証明書等、婚姻関係を証明する書類（英訳の上、フィリピン大使館又は領事館にて認証を受ける必要があります。）
- ⑦ 21歳未満の未婚の子女の場合は出生証明書や戸籍謄本など、主たるビザ保有者との関係性を証明する書類（英訳の上、フィリピン大使館又は領事館にて認証を受ける必要があります。）
- ⑧ 主たる 9(g)ビザ保有者のビザのページの写し
- ⑨ BI 発行の Clearance Certificate（BI が発行する、申請者が不敬な行為を過去にしていないことを確認する書面です。BI に参考書式 4 の申請書を提出するとすぐに発行されます。）
- ⑩ 申請者の顔写真

エ 申請手数料

9(g)ビザの申請手数料は、配偶者及び子女の申請手数料も含め、雇用主の規模によって、ビザの有効期間に応じて以下の通り規定されています。

(ア) 上位 1000 社（SEC 等に提出される財務諸表で確認できる益金によってランク付けされる）に入らない規模の会社の場合

有効期間	主たるビザ保有者	配偶者及び 16 歳以上 21 歳未満の子女	16 歳未満の子女	14 歳未満の子女
1 年	10130.00 ペソ	8120.00 ペソ	7870.00 ペソ	7370.00 ペソ
2 年	17170.00 ペソ	13960.00 ペソ	13710.00 ペソ	13210.00 ペソ
3 年	24210.00 ペソ	19800.00 ペソ	19550.00 ペソ	19050.00 ペソ
ACR I-Card の申請に必要な手数料				
1 年 +US\$ 50				
2 年 +US\$ 100				
3 年 +US\$ 150				

(イ) 上位 1000 社に入る規模の会社の場合

有効期間	主たるビザ保有者	配偶者及び 16 歳以上 21 歳未満の子女	16 歳未満の子女	14 歳未満の子女
1 年	10630.00 ペソ	8620.00 ペソ	8370.00 ペソ	7870.00 ペソ
2 年	18170.00 ペソ	14960.00 ペソ	14710.00 ペソ	14210.00 ペソ
3 年	25710.00 ペソ	21300.00 ペソ	21050.00 ペソ	20550.00 ペソ
ACR I-Card の申請に必要な手数料				
1 年 +US\$ 50				
2 年 +US\$ 100				
3 年 +US\$ 150				

◇ 上記手数料は 2014 年 3 月 6 日現在のものです、予告なく変更されることがあります。

## (2) 9(d)ビザ

### ア ビザの概要

#### (ア) 取得要件ほか

9(d)ビザは、①フィリピンと自らの国籍国（日本）の間の取引を行うことを目的としたフィリピン企業に勤める者、又は、②フィリピン国内で自らが投資している事業を運営することを目的として入国する者に交付されます。このビザは条約に基づくものであるため、条約の締結国である日本、米国又はドイツの国籍を有する者しか取得することが出来ません。

①の場合は、当該フィリピン企業の株式の50%以上を日本人が所有しており、かつフィリピンと日本の間の取引が相当額以上である必要があります。

②の場合は、事業への投資額が相当額以上である必要があります。

本ビザの有効期限は、1年又は2年であり、当該期間以降は更新が必要となります。

本ビザには数次入国特権が付されています。

本ビザを取得する外国人の配偶者又は未婚かつ21歳未満の子女も、同ビザを取得することができます。

#### (イ) 活動の範囲

9(d)ビザに基づく活動の範囲は、その取得要件において示されたフィリピンの企業での就労又は事業に限定されます。

#### (ウ) 根拠法

移民法 9条(d)

#### イ 駐在員本人の申請書類及び申請手続

9(d)ビザの申請書類及び申請手続は、基本的に9(g)ビザの申請書類及び申請手続と同様となります。なお、実務上、9(d)ビザの申請はフィリピン国内で行われており、無査証又は9(a)ビザでフィリピンに入国した上で、申請手続を行います。

#### (ア) 申請書類

9(d)ビザの申請に必要な書類は以下の通りです。

- ① BIの検査官に宛てた、申請者と申立人（雇用主）のレター
- ② 記入済みのCGAF（参考書式3）
- ③ パスポートの個人情報ページ及び最新の入国許可押印ページの写し
- ④ AEPの写し
- ⑤ 雇用主に関する以下の書面
  - ・ SEC発行のCertificate of Incorporation（設立証書）

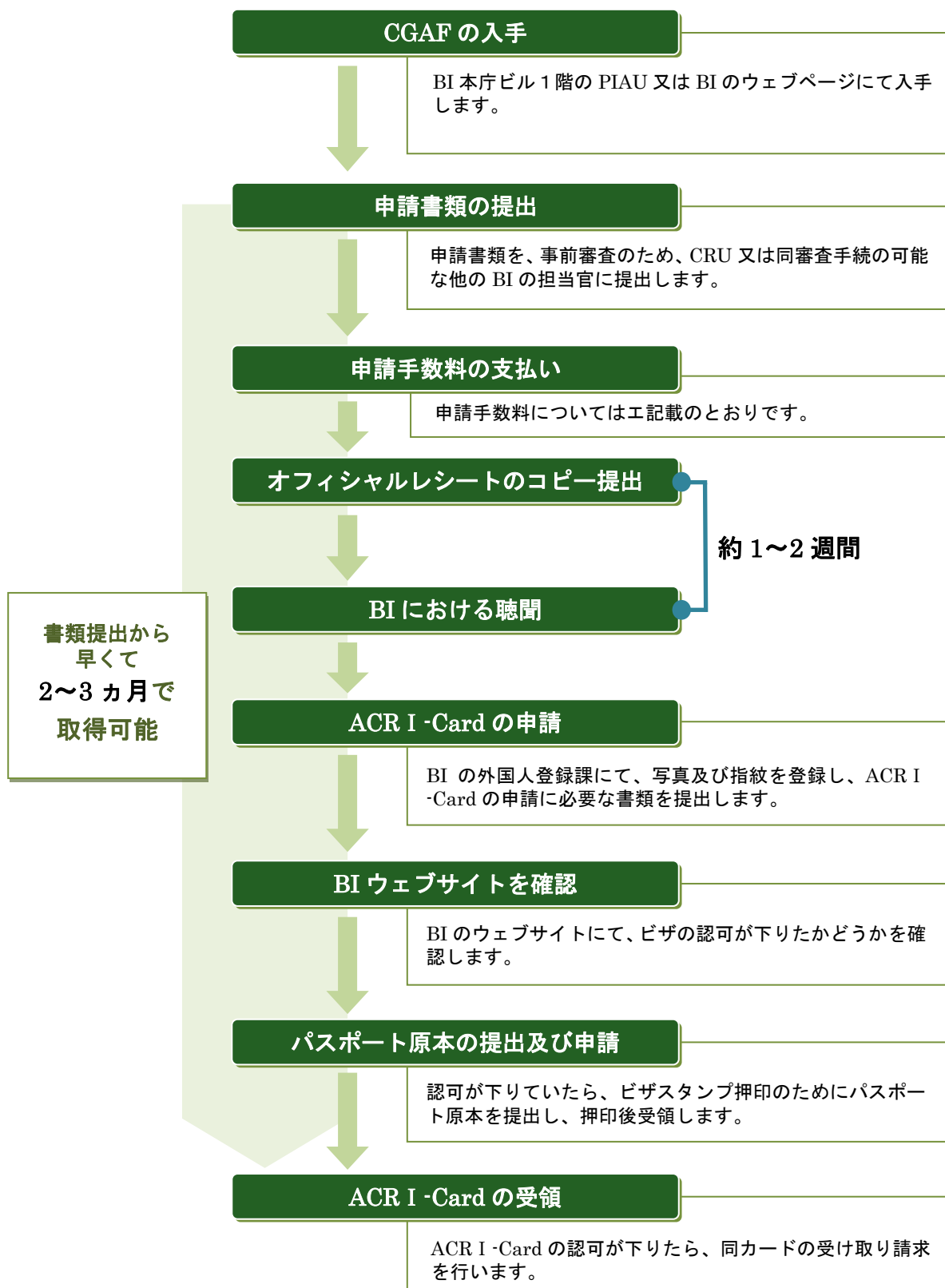
- ・ 定款
  - ・ SEC の受領印付き年次報告書 (GIS)
- ⑥ 雇用主の直近の所得税申告書 (ITR) 及び納税証明書 (領収書、銀行の伝票、国税庁の eFPS の支払明細のプリントアウト、又はそれに準じた納税を証明するもの)
  - ⑦ 認証付き雇用契約書の写し、又はそれに準じた書類 (任命書、選任書など) で、申請者に支払われる報酬の金額と詳細、雇用期間及び会社内での申請者の職務の性質・領域について詳述したもの
  - ⑧ 取締役会決議 (申請関係書類に署名した雇用主が定款及び最新の GIS に表示されている者以外である場合)
  - ⑨ 申請者の履歴書 (学歴、職歴及び学位を明記したもの)
  - ⑩ 申請者の納税者識別番号 (TIN) を証明する書類 (この TIN は、Bureau of Internal Revenue (内国歳入局) で取得できます。同局のウェブサイトでも取得可能です。)
  - ⑪ BI 発行の Clearance Certificate (BI が発行する、申請者が不敬な行為を過去にしていないことを確認する書面です。BI に参考書式 4 の申請書を提出するとすぐに発行されます。)
  - ⑫ 申請者の顔写真

(イ) 申請手続

9(d)ビザの申請手続は次頁のチャートの通りです。



## 9(d)ビザ（通称航海条約に基づく貿易取引業者・投資家ビザ）申請手続



ウ 配偶者又は 21 歳未満の未婚の子女の申請書類及び申請手続

(ア) 申請手続

9(d)ビザ取得者の配偶者又は 21 歳未満の未婚の子女のビザ申請においても、9(g)ビザの場合と同様、主たる申請者と同時に申請するか、別途請求するかにより、**Joint Application** と **Inclusion of Dependent** の 2 種類の手続きが存在します。いずれの場合においても、手続の大枠は 9(d)ビザ取得者本人に関する手続と同様であり、BI における聴聞が必要（ただし、子女については、その年齢に応じて免除される場合もあります。）となります。

(イ) 申請書類

- ① 記入済みの CGAF（参考書式 3）
- ② パスポートの個人情報ページ及び最新の入国許可押印ページの写し
- ③ 申請者に応じた以下の書面
  - a. 申請者が配偶者の場合
    - ・ 結婚証明書等、婚姻関係を証明する書類（英訳の上、フィリピン大使館又は領事館にて認証を受ける必要があります。）
  - b. 申請者が子女の場合
    - ・ 出生証明書や戸籍謄本など、主たるビザ保有者との関係性を証明する書類（英訳の上、フィリピン大使館又は領事館にて認証を受ける必要があります。）
- ④ BI 発行の **Clearance Certificate**（BI が発行する、申請者が不敬な行為を過去にしていないことを確認する書面です。BI に参考書式 4 の申請書を提出するとすぐに発行されます。）
- ⑤ **Inclusion of Dependent** の場合、上記に加え
  - ・ BI の検査官に宛てたレター
  - ・ 駐在員本人のビザのコピー等、ビザ取得に関連する資料

エ 申請手数料

有効期間	主たるビザ保有者	配偶者及び 16 歳以上 21 歳未満の子女	16 歳未満の子女	14 歳未満の子女
1 年	9,620.00 ペソ	8,120.00 ペソ	7,870.00 ペソ	7,370.00 ペソ
2 年	13,650.00 ペソ	11,950.00 ペソ	11,700.00 ペソ	11,200.00 ペソ
ACR I-Card の申請に必要な手数料				
1 年 +US\$ 50				
2 年 +US\$ 100				

☆ 上記手数料は 2014 年 3 月 6 日現在のもので、予告なく変更されることがあります。

(3) PEZA ビザ (47(A) (2)ビザ)

ア ビザの概要

(ア) 取得要件ほか

PEZA ビザは、PEZA の登録企業の従業員に対して交付されます。本ビザ取得者は当該企業の運営にとって不可欠な人員である必要があります。また、PEZA 登録企業においては、外国人の雇用割合が 5%を超えてはならないため、日本人 1 名を雇用し本ビザを取得するには、フィリピン人の従業員 20 名以上を雇用する必要があります。

本ビザの有効期間は 1 年ですが、更新が可能です。

本ビザには数次入国特権が付されています。

本ビザを取得する外国人の、配偶者又は未婚かつ 21 歳未満の子女も、同ビザを取得することができます。

(イ) 活動の範囲

PEZA ビザに基づく活動の範囲は、当該 PEZA 登録企業における就労に限定されます。

(ウ) 根拠法

移民法 47 条(a)(2)

Executive Order (以下「行政命令」といいます。) 226 号の 76 条

イ 駐在員本人の申請書類及び申請手続

PEZA ビザに関する申請手続は、PEZA のオフィスで行われます。また、9(g)ビザ及び 9(d)ビザとの大きな相違点としては、BI における聴聞手続がないことが挙げられます。なお、実務上、PEZA ビザの申請はフィリピン国内で行われており、無査証又は 9(a)ビザでフィリピンに入国した上で、申請手続を行います。

(ア) 申請書類

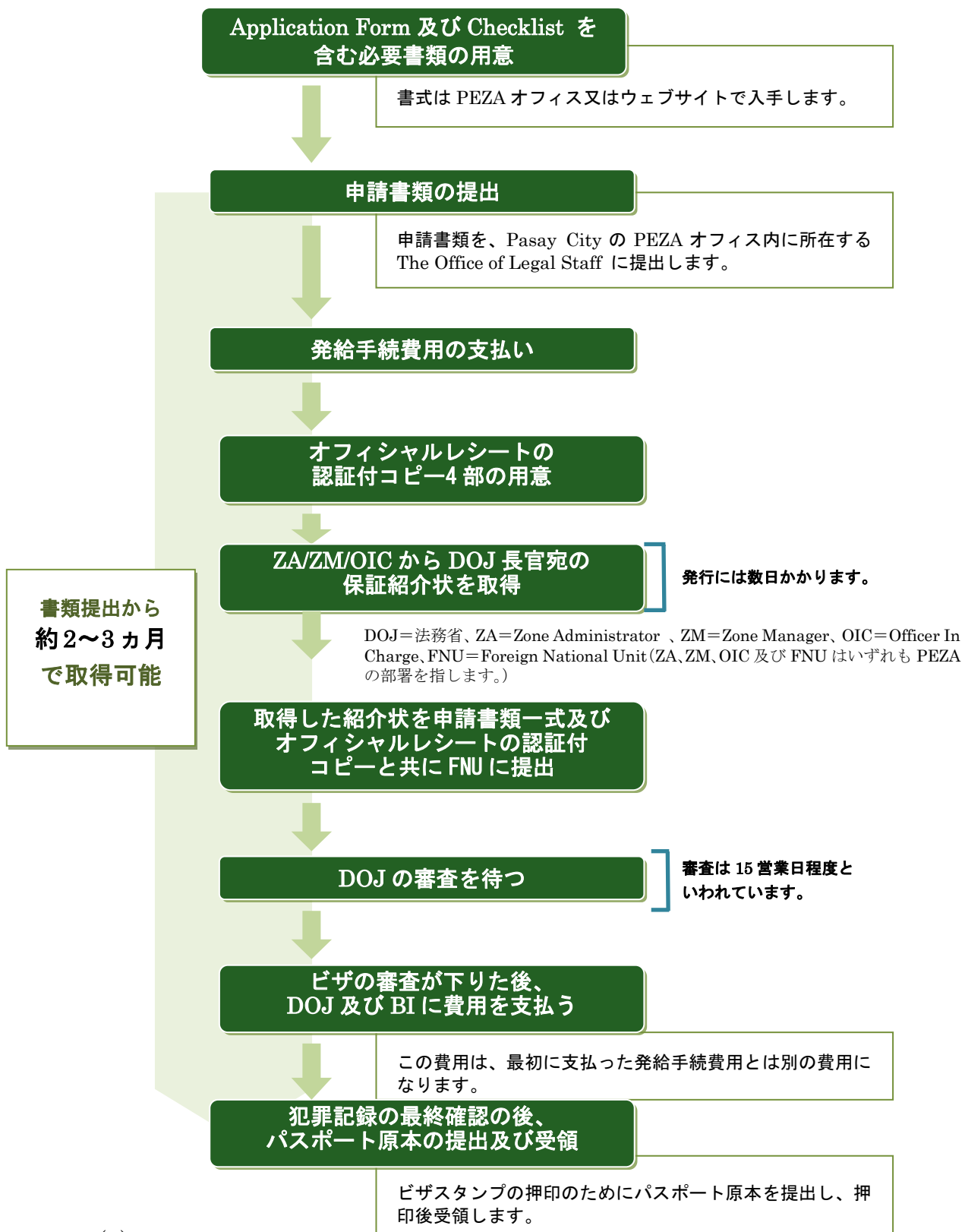
- ① 申請書 (Application for Issuance of Visas) (参考書式 9)
- ② チェックリスト (Checklist of Information and Documentary Requirements for Special Non-Immigrant Visa (47a2) Application)
- ③ 雇用主からの PEZA 長官に対するレター (以下の事項を証明する旨の記載を要する。) (参考書式 10)
  - ・ ビザ対象者を雇用することが企業の運営に不可欠であること
  - ・ 雇用されるビザ対象者が、過去 5 年間、居住国、フィリピンその他の外国において、罪を犯し又は犯したとして訴追されていないこと
  - ・ ビザ対象者が他の企業に転職し又は他の事業を開始する場合、事前に PEZA の許可を取得すること

- ・ ビザ対象者の企業運営のために必要な技能をフィリピン人労働者に伝授するための代役プログラム（Understudy Program）を実施すること
  - ・ ビザ対象者が退職した場合、企業は 3 日以内に PEZA を通じて DOJ に報告すること
  - ・ 企業がビザ対象者の雇用終了後の帰国について全責任を負うこと
- ④ PEZA 発行の企業設立証明書の写し
  - ⑤ パスポートの個人情報ページ及び最新の入国許可押印ページの写し
  - ⑥ 企業の秘書役による証明付の雇用又は役務提供に関する契約書
  - ⑦ 申請者の履歴書
  - ⑧ AEP の写し

(イ) 申請手続

PEZA ビザの申請手続は次頁のチャートの通りです。

## PEZA ビザ申請手続



ウ 配偶者又は 21 歳未満の未婚の子女の申請書類及び申請手続

(ア) 申請手続

PEZA ビザ取得者の配偶者又は 21 歳未満の未婚の子女のビザ申請においても、9(g)ビザ及び 9(d)ビザの場合と同様、**Joint Application** と **Inclusion of Dependent** が存在しますが、いずれも手続の大枠は PEZA ビザ取得者本人に関する手続と同様です。

(イ) 申請書類

- ① パスポートの個人情報ページ及び最新の入国許可押印ページの写し
- ② 当該配偶者又は子女が駐在員本人から経済的な扶養を受けることを保証する旨の雇用主による宣誓供述書及びその支払能力を示す証拠書面
- ③ 申請者に応じた以下の書面
  - a. 申請者が配偶者の場合
    - ・ 結婚証明書等、婚姻関係を証明する書類（英訳の上、フィリピン大使館又は領事館にて認証を受ける必要があります。）
  - b. 申請者が子女の場合
    - ・ 出生証明書や戸籍謄本など、主たるビザ保有者との関係性を証明する書類（英訳の上、フィリピン大使館又は領事館にて認証を受ける必要があります。）
- ④ **Inclusion of Dependent** の場合、上記に加え
  - ・ 雇用主によるレター
  - ・ 配偶者又は子女の氏名を記載した DOJ の申請書
  - ・ 駐在員本人のビザ取得に関連する資料

エ 申請手数料

申請者 1 名あたり 4,815.00 ペソ

### 3 長期出張者が取得するビザ (9(a)ビザ)

#### ア ビザの概要

##### (ア) 取得要件ほか

合法的且つ非移民目的（観光、娯楽、スポーツ、休養、健康、親族や友人訪問、国際会議、科学、教育、商業、プロフェッショナル・ワークショップ、会議、講義、契約商談、企業間のミーティングやその他の商用の業務）で短期滞在する者に発行されるビザです。

本ビザの有効期間は 59 日で、その延長も可能です。

ただし、前述の通り、日本国民は①有効な往復航空券又は第三国へ出国する航空券を有しており、②パスポートの有効期限が滞在日数プラス 6 ヶ月以上ある場合、フィリピンに入国する際にビザは不要となり、最大 30 日間の滞在が許可されます。また、この滞在期間については、LSVVE という手続によって、最長 3 年まで延長可能です。そのため、敢えて 9(a)ビザの取得が必要となる場面は多くないかもしれません。

本ビザは配偶者や子には付随して発行されませんので、配偶者や子それぞれが申請者となって個別に 9(a)ビザの申請を行うか、無査証で入国することになります。

##### (イ) 活動の範囲

本ビザは、フィリピン国内での就学、就労、求職を認めるものではありません。本ビザで入国後フィリピン国内にて報酬を得る活動に従事することを希望する外国籍の者は、AEP を取得するか、別途 BI から 6 ヶ月を超えない就労を許可する Special Work Permit（特別就労許可。以下「SWP」といいます。）を取得する必要があります。この SWP は、3 ヶ月有効で、1 回限り延長することが可能です。それ以上の期間、就労を希望する場合は、SWP の期限が切れる最低 21 営業日前に DOLE に AEP の申請をする必要があります。

##### (ウ) 根拠法

移民法 9 条(a)

##### イ 日本における申請書類及び申請手続

以下では、フィリピンへの長期出張を予定する者が、渡航前に日本のフィリピン大使館で 9(a)ビザを取得する場合を想定してその必要書類及び申請手続についてご説明します。なお、駐在員となる者がフィリピン渡航前に 9(a)ビザを日本国内で申請する場合も同じ必要書類を用いて申請します。

##### (ア) 申請書類

- ① 申請者本人のパスポート（原本及び写真のページの写し1部）。パスポートの有効期限が滞在最終日から6ヶ月以上先までであること。
- ② 非移民査証申請用紙（参考書式11）
- ③ 申請者の顔写真
- ④ ビジネス目的での短期滞在には、①-③に加え以下の書類の提出が必要
  - ・ 日本にある企業からフィリピンへ派遣される場合：会社又は雇用者からの推薦状（会社名、フィリピンへの派遣目的、出張内容、ビザ申請者のフライトの詳細、滞在先住所を明記すること）。日本国籍を持たない者は、在留カード又は外国人登録証の写しの提出も必要。
  - ・ フィリピンにある企業から招聘された場合：当該企業からの招聘状（フィリピン国内での保証人、ビザ申請者のフライトの詳細、滞在先住所、フィリピン国内で法令を順守させることを明記すること）。日本国籍を持たない者は、在留カード又は外国人登録証の写しの提出も必要。

(イ) 申請手続

申請手続は、次頁のチャートの通りです。



## 9(a)ビザ（一時入国ビザ）申請手続

### 申請書類の提出及び申請手数料の支払い

最低  
5 営業日

ビザ申請用紙に申請者本人がすべての箇所を英語にて記入し、必要箇所に署名（又は捺印）をした上で申請書類とともにフィリピン大使館領事部に提出します。

### 9(a)ビザの受領

- ✧ フィリピン大使館によれば、申請手続は遅くとも渡航 2 週間前までに始めることが推奨されています。
- ✧ 原則として、ビザ申請者本人が、申請における質問や書類審査に応じるため、フィリピン大使館領事部の窓口にて申請を行う必要があります。ただ、ビザ申請者本人が窓口にて申請できない場合は、申請前にビザ申請用紙を日本の公証役場にて公証し代理人に申請を依頼することも可能です。
- ✧ 未成年者（申請時 18 歳未満）のビザ申請では、本人の代わりに親権者が署名をした申請書と申請に必要な添付書類を提出し、申請することが可能です。また、未成年者（乳幼児を除く）は、親権者と揃って面談のため来館するよう要請される場合があります。

主要ビザ一覧

名称	根拠法令	取得要件	許容活動範囲
9(g)ビザ	移民法 9 条(g)	フィリピン国籍以外の者が、フィリピン国内で報酬を伴う職に就く場合やその他有償の労働が生じる場合に必要となるビザで、雇用主と申請者との間に真正な雇用関係が存在することが必要です。 また、フィリピン人では従事が難しい業務を遂行する外国人であり、且つ、それがフィリピンの公共の利益に資することが必要で、その旨 BI から認められる必要があります。	フィリピン国内で報酬を伴う職やその他有償の労働に従事することができます。申請の際に申立人となった雇用主における就労に限定されます。
9(d)ビザ	移民法 9 条(d)	フィリピンと自らの国籍国（日本）の間の取引を行うことを目的としたフィリピン企業に勤める者又はフィリピン国内で自らが投資している事業を運営することを目的として入国する者に対するビザであり、フィリピンと日本との取引額が相当額以上であるか、事業への投資額が相当額以上であることを要します。	その取得要件において示されたフィリピンの企業における就労又は事業に限定されます。
PEZA ビザ	移民法 47 条(a)(2) 行政命令 226 号	PEZA の登録企業の従業員であり、当該企業の運営にとって不可欠な人員である必要があります。	当該 PEZA 登録企業における就労に限定されます。
9(a)ビザ	移民法 9 条(a)	合法的且つ非移民目的（観光、娯楽、スポーツ、休養、健康、親族や友人訪問、国際会議、科学、教育、商業、プロフェッショナル・ワークショップ、会議、講義、契約商談、企業間のミーティングやその他の商用の業務）で短期滞在する者に発行されます。	フィリピン国内での就学、就労、求職は認められません。本ビザで入国後フィリピン国内にて報酬を得る活動に従事することを希望する外国籍の者は、AEP を取得するか、別途 BI から 6 ヶ月を超えない就労を許可する SWP を取得する必要があります。

#### 4 その他のビザの概要

ビジネス向けの主な滞在ビザは上記で紹介したとおりですが、フィリピンでビジネスを行う日本人が取得する可能性のあるビザとしては上記の他にも多数存在します。以下では、日本人がビジネスを行うために取得する可能性のあるその他のビザを簡単に紹介します。

##### (1) Quota Immigrant Visa (割当移民ビザ)

割当移民ビザは、移民法 13 条に基づき、対象国 1 国ごとに 1 年あたり 50 人まで発給されるビザです。

移民ビザであるため更新等が必要でなく、取得さえできれば非常に使い勝手のよいビザです。もっとも、1 年で合計 50 人の日本人にしか付与されないため、概ね 1 月中にしか申し込むことができません。また、選考課程の不透明さも指摘されており、取得の簡易性及び透明性が必要になるビジネス遂行のためのビザとしては向いていないと考えられます。そのため、フィリピンで別の居住ビザを取得し、滞在及び稼働しつつ、ビザの切り替えとして取得を狙うことが考えられます。

##### (2) Non-Quota Immigrant Visa (非割当移民ビザ)

非割当移民ビザは、移民法 13 条に基づき、フィリピン人と結婚した者等に発給されるビザです。

現地赴任後にフィリピン人と結婚した場合には、こちらのビザへの切り替えを行うことが考えられます。

##### (3) 雇用創出者ビザ (Special Visa for Employment Generation /SVEG)

SVEG は、行政命令 758 号に基づき、発給される特別ビザです。

フィリピン国内における雇用の創設のために設けられたビザであり、フィリピン国内において 10 人以上のフィリピン人を雇用する外国人に交付されます。

(4) Special Resident Retiree's Visa (特別居住退職者ビザ。以下「SRRV」といいます。)

SRRV は、行政命令 1037 号に基づき、発給される居住ビザです。

「Retiree's」(退職者) という名称ではありますが、SRRV 保持者は原則として就労も可能です(ただし、SRRV の種類によっては制限があります。)。取得要件についても、①35 歳以上、②一定額以上の預金又は投資をフィリピンで行うことが主な要件であり、現役世代の方でも取得することができます(詳細は、下記の表をご参照ください。)

そのため、フィリピンで預金等を行う余裕がある場合は、このビザを取得してビジネスを行うことも考えられます(実際にも、SRRV で滞在してビジネスを行っている方がいます。)。なお、この場合も就労のためには AEP の取得が必要となることにはご注意ください。

名称	必要預金・投資額	就労	備考
SRRV SMILE	20,000 米ドル (投資への転換は不可)	○	
SRRV CLASSIC	・ 35 歳から 49 歳の者 50,000 米ドル ・ 50 歳以上の者 20,000 米ドル 年金受給者は 10,000 米ドル (投資への転換が可能)	○	50 歳以上の者が年金受給を理由に預金の減額を認められるためには、月額 800 米ドル以上の年金を受給している必要があります。
SRRV HUMAN TOUCH	10,000 米ドル (投資への転換は不可)	×	療養等を必要とする者が対象であり、月額 1,500 米ドル以上の年金を受給している必要があります。

◇ SRRV COURTESTY という種類も存在しますが、元フィリピン人等のフィリピンと一定のつながりがある者が対象であるため、省略いたします。

(5) 多国籍企業の地域統括本部外国人スタッフに対する特別ビザ (多国籍企業ビザ)

多国籍企業ビザは、多国籍企業の地域統括本部の管理職を務める外国人に交付される特別ビザです。

大企業のフィリピン支社に勤める従業員向けのビザであるため、フィリピンでの拠点立ち上げを考えている日本企業の関係者が取得することはあまり考えられません。

(6) 特別投資家居住ビザ (Special Investor's Residence Visa/SIRV)

SIRV は、行政命令 226 号に基づき、発給される居住ビザです。

SIRV は、フィリピンに対して多額の投資(原則として 7 万 5000 米ドル以上)を行っている 21 歳以上の外国人に対して交付されます。

### 第3章 ビザの更新手続

第2章で述べましたとおり、駐在員用のビザの場合、基本的には申請から最長3年で期限が切れ、また長期出張者のビザも59日で期限が切れるため、それ以上の期間フィリピンに滞在するためには各ビザの更新が必要となります。そこで、本章ではビザ毎の更新手続について説明します。

#### 1 9(g)ビザ

9(g)ビザを更新するには、ビザ申請時と同様、ビザ保有者の提供する役務が雇用主の経営、事業、運営又は監督に必要不可欠であることが認められる必要があります。本ビザの更新の申請は、現在保有しているビザの有効期間満了の最低1ヶ月前までに行う必要があります。更新後の有効期間は、3年を超えない雇用期間相当の期間になります。なお、9(g)ビザの要件を満たしている限り、更新の回数には制限はありません。

具体的な更新手続は申請手続とほぼ相違ありませんが、念のため以下ご説明します。

#### (1) 必要書類

##### ア 主たる9(g)ビザ保有者の必要書類<sup>5</sup>

主たる9(g)ビザ保有者の更新のための必要書類は、基本的に、13頁記載の9(g)ビザ申請時の必要書類から④申請者の履歴書、⑥SEC発行の会社登記簿、⑨会社の直近の所得税申告書、⑩申請者の納税者識別番号(TIN)を証明する書類、⑫AEP発行について掲載された新聞記事及び⑬雇用主が雇用する外国人労働者の数について記載した書面、を除いたものになります。

##### イ 配偶者又は21歳未満の子どもの必要書類

配偶者又は21歳未満の子どもの更新のための必要書類は、16頁記載の9(g)ビザ申請時の必要書類(Joint Applicationの場合)に、ACR I-Cardの裏表写しを加えたものになります。

#### (2) 申請手続

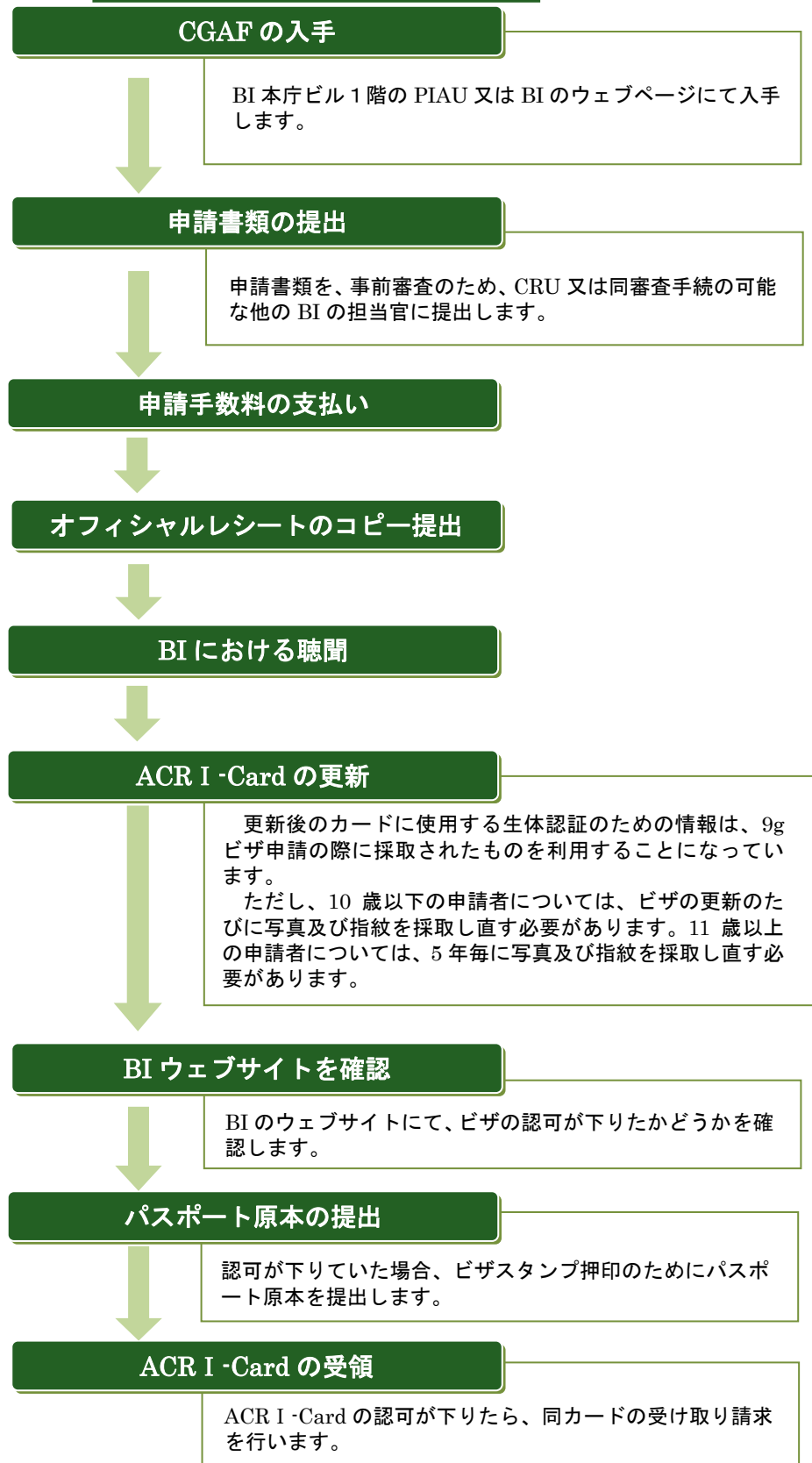
9(g)ビザ更新の申請手続は次頁のチャートの通りです。

---

<sup>5</sup>なお、BIのウェブサイトには、申請に当たっての一般的な留意事項や必要書類について説明したチェックリストが掲載されています。

<http://www.immigration.gov.ph/images/NonImmigrantVisasForms/4PreArrangedCommercial/2Extension/2014-12-015%20Rev%200%20Extension%20of%209G%20Commercial.pdf>

## 9(g)ビザ（雇用ビザ）更新手続



## 2 9(d)ビザ

9(d)ビザを更新するには、9(d)ビザの期間満了の1ヵ月以上前に申請を行う必要があります。更新申請に必要な書面及び手続はほぼ同様ですが、以下のとおりとなります。

### (1) 必要書類

#### ア 主たる9(d)ビザ保有者の必要書類

主たる9(g)ビザ保有者の更新のための必要書類は、基本的に、19頁記載の9(d)ビザ申請時の必要書類から、⑤の設立証明及び定款、⑥支払証明付の雇用主の最新納税申告書、⑧取締役会決議、⑨申請人の履歴書、⑩申請者及び企業の納税者識別番号(TIN)を保持していることの証明、を除いたものになります。

#### イ 配偶者又は21歳未満の子女の必要書類

配偶者又は21歳未満の子女の更新のための必要書類は、22頁記載の9(d)ビザ申請時の必要書類(Joint Applicationの場合)に、ACR I-Cardの裏表写しを加えたものになります。

### (2) 手続

手続は、ACR I-Cardに関する手続が取得ではなく更新となる点を除き、取得時と同様であり、更新時にも「BIにおける聴聞」が必要となります。

### 3 PEZA ビザ

PEZA ビザを更新するには、PEZA ビザの期間満了の 1 ヶ月以上前に申請を行う必要があります。更新申請に必要な書面及び手続はほぼ同様ですが、以下のとおりとなります。

#### (1) 必要書類

##### ア 本人の必要書類

主たる PEZA ビザ保有者の更新のための必要書類は、基本的に、23 頁記載の取得申請時の必要書面と同様となります。

##### イ 配偶者又は 21 歳未満の子女の必要書類

配偶者又は 21 歳未満の子女の更新のための必要書類は、基本的に、26 頁記載の取得申請時の必要書面と同様となります。

#### (2) 手続

手続につきましても、取得申請時と同様となります。

### 4 9(a)ビザ及び無査証の場合

#### (1) Long-Stay Visitor Visa Extension (LSVVE)

BI は 2013 年に、Long-Stay Visitor Visa Extension (LSVVE) と呼ばれるツーリストビザ (9(a)ビザを含む) の新たな延長手続を導入しました。この手続を利用すれば、一度の手続で最大 6 ヶ月間の滞在期間の延長が可能です。対象は全ての一時入国者で、無査証で入国した者も事前に 9(a)ビザを取得して入国した者も対象となります。延長を希望する者は、現状許可された滞在期間が満了する前に BI にて申請を行う必要があります。追加の延長も可能で、無査証でのフィリピン滞在が認められている国籍の者 (日本国民を含みます) は最長 36 ヶ月、それ以外の国籍の者は最長 24 ヶ月まで、この制度の下で滞在が可能です。

##### ア 必要書類<sup>6</sup>

LSVVE 申請の必要書類は以下の通りです。

- ① 記入済み申請書 (参考書式 12)

---

<sup>6</sup>なお、BI のウェブサイトには、申請に当たっての一般的な留意事項や必要書類について説明したチェックリストが掲載されています。

<http://www.immigration.gov.ph/images/FORMS/Checklist/2NonImmigrant/Tourist%20Visa%20Extension.pdf>

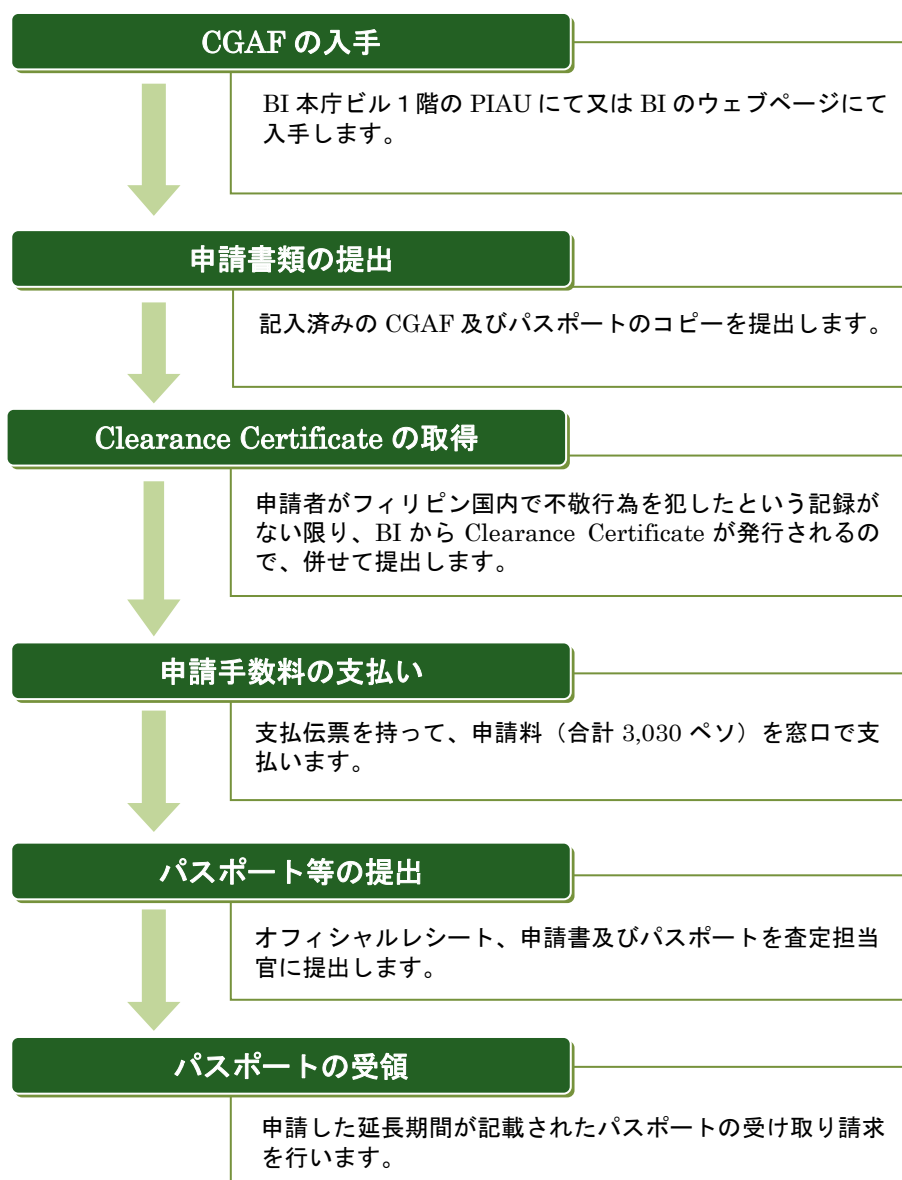


- ② 申請者のパスポートのデータページ及び有効な滞在期間が残存していることを示す直近の入国記録のページ又は 9(a)ビザのページの写し
- ③ BI の Clearance Certificate (BI が発行する、申請者が不敬な行為を過去にしていなかったことを確認する書面です。BI に参考書式 4 の申請書を提出するとすぐに発行されます。)
- ④ 申請者の顔写真

イ 申請手続

LSVVE の申請手続は下のチャートの通りです。

**LSVVE の申請手続**



## (2) 9(a)ビザ及び無査証の場合の従来の更更新手続

一度の手続でより長い期間の延長申請が可能な Long-Stay Visitor Visa Extension (LSVVE)が導入されましたが、従来の手続によっても滞在期間の延長を行うことも可能です。

### ア 無査証の場合

無査証で入国した場合は、従来の手続によれば初回の延長による有効期間は 29 日間になります。申請書類及び手続は LSVVE 申請の場合と同様です。

### イ 9(a)ビザ

前述の通り、9(a)ビザで入国した場合は 59 日間の滞在が認められています。その延長を申請する従来の手続について、BI のウェブページでは LSVVE とは独立した解説ページがもうけられていますが、必要書類、フォーム及び具体的な手続については LSVVE と相違ありません<sup>7</sup>。なお、初回の延長は最長 2 ヶ月までとなっています。

## 5 AEP

ビザ更新のための必要書類として AEP の写しが要求されることから、ビザ更新の手続に先立って AEP の更更新手続が必要となります。

AEP の更更新は、現在所有している AEP が失効する 1 か月以上前にその手続を行う必要があります。会社役員等の場合は、選任手続が AEP 失効前に行われる場合、選任が行われた後 15 営業日以内に、更更新の申請を行う必要があります。選任手続が AEP の失効後に行われる予定であるときは、更更新の申請自体は失効前に行う必要があります。更更新の申請は、初回の申請の場合と同様、必要書類を DOLE に提出することで行います。

更更新のための必要書類は 5 頁記載申請時の必要書類に、現在所有している AEP の写しを加えたものになります。

更更新後の AEP の有効期間及び更更新の申請手数料は初回の申請の場合と同様です。

## 6 ACR I-Card

ACR I-Card の更更新は、初回の申請と同様、必要書類を BI に提出することで行います。必要な書類は以下の通りです<sup>8</sup>。

- ① 記入済み申請書 (参考書式 13)
- ② 現在保有している ACR I-Card 原本

---

<sup>7</sup>なお、BI のウェブサイトには、申請に当たっての一般的な留意事項や必要書類について説明したチェックリストが掲載されています。

<http://www.immigration.gov.ph/images/FORMS/VariousApplicationsForms/2014-01-010%20Rev%201%20CDR%20Tourist%20Visa%20Extension.pdf>

<sup>8</sup>なお、BI のウェブサイトには、申請に当たっての一般的な留意事項や必要書類について説明したチェックリストが掲載されています。

<http://www.immigration.gov.ph/images/FORMS/Checklist/4AlienRegistration/Renewal.pdf>

- ③ 申請者のパスポートのデータページ、ビザのページ及びフィリピンへの最新の入国記録のページの写し

更新後の ACR I-Card の有効期間及び更新の申請手数料は初回の申請の場合と同様です。

## 7 ビザ更新手続き中の出国について

### (1) 9(g)ビザ及び9(d)ビザの場合 (Grace Period の申請)

9(g)ビザ及び9(d)ビザの更新申請を期限内に行ったとしても、現在保有しているビザの有効期間が満了するまでに更新されたビザが発行されない可能性があります。そこで、ビザ更新申請後にフィリピン出国を予定している場合は、現在保有している9(g)ビザ及び9(d)ビザについて有効期間満了から3ヶ月間の猶予期間 (Grace Period) をBIに申請する必要があります。なお、3ヶ月の猶予期間が経過しても更新の完了が見込めない場合は、更なる Grace Period の申請を行うことも可能です。必要書類は以下の通りです。

- ① BI の検査官に宛てた申請者及び雇用主のリクエストレター
- ② ビザ更新申請の際に提出したレターで、BI が正式に受領したことを示す受領印が押されたものの写し
- ③ ビザ更新申請の際に提出した CGAF で、BI が正式に受領したことを示す受領印が押されたものの写し
- ④ 申請者のパスポートのデータページ、ビザページ及び直近のフィリピン入国記録の写し
- ⑤ ビザの更新手続きの手数料を支払ったことを示すオフィシャルレシートの写し
- ⑥ 有効な ACR I-Card の裏表写し
- ⑦ 猶予の申請に必要な手数料を支払ったことを示すオフィシャルレシートの写し
- ⑧ BI 発行の Clearance Certificate

### (2) PEZA ビザの場合

PEZA ビザに関しては Grace Period の制度が実務上取られておりません。したがって、PEZA ビザ保有者は、更新前の PEZA ビザ失効前にフィリピンに戻るか、無査証又は9(a)ビザで再入国し PEZA ビザの更新承認後にビザの Revalidation を行うこととなります。Revalidation は以下の書面を PEZA に提出して行います。

- ① PEZA ビザ失効の理由を記載した Revalidation の申請レター (公証が必要)
- ② PEZA ビザ申請に関して DOJ に提出した各種書面の写し
- ③ パスポートのフィリピンへの入国記録ページの写し
- ④ DOJ の承認書原本

なお、この点についてはあくまで実務上の取扱であるため、当局により変更される可能性が高いと言えます。よって、実際に PEZA ビザ更新手続き中に出国される場合には、改めて当局に確認されることをお勧めします。

## 第4章 よくあるトラブル

### 1 発給の遅滞

フィリピンにおけるビザ申請手続等に関してよくあるトラブルの代表は、やはり、期間の問題です。BI や DOLE のホームページに記載されている期間や、関係者間で述べられている期間より長い期間がビザ等の取得までにかかっているケースは少なくありません。このような事態に対処するため、ビザ等の申請後発給前に仮就労を認める手続なども準備されていますが（PWP の取得等）、かかる手続も同様に遅れる可能性があります。したがって、期間に余裕を持って申請を行うことの他に対策法がなく、すべての手続において申請ができるようになった場合には直ちに申請を行うことが望ましいです。

### 2 パスポートの期限切れ

前項はフィリピン当局の側で時間がかかっている場合であり、やむを得ない場合とも言えます。他方、ビザ保有者のパスポートの有効期限が切れる際の手続の誤りにより、トラブルとなるケースもありますので、注意が必要です。

#### (1) 在比中にパスポートの有効期限が切れる場合

有効な就労ビザを得てフィリピンに滞在している間に、保有しているパスポートの有効期限が満了する場合があります。次項においても触れますが、パスポートの有効期限が6ヶ月未満である場合、一度フィリピンを出国すると、そのパスポートでフィリピンに再入国することはできません。フィリピン国外に出る予定がないとしても、大使館又は領事事務所で早めに更新手続（有効期限満了の1年前から更新が可能です）を取ることが望ましいと言えます。なお、更新したパスポートと従来パスポートをBIに持参することにより、新しいパスポートにビザを付すことが可能です。

#### (2) 日本に一時帰国中にパスポートの有効期限が6ヶ月を切ってしまう場合

この場合、フィリピンの就労ビザを有していたとしても、フィリピンに再入国することができません。仮に日本を出国できたとしてもフィリピンの入国段階で拒絶され、そのまま日本への帰還を強制されることとなります。

仮にそうなった場合、まず日本でパスポートを更新することが必要となります。そして、フィリピンに入国する際に、古いパスポートと新しいパスポートを提示することが必要です。一般的に、入国管理官はこのような場合であっても就労ビザを有する者の入国として取り扱いますが、一部そうでないケースも報告されており、無査証での入国として許可する場合もあるようです。いずれの場合においても、入国後にBIに古いパスポートと新しいパスポートを持参して、新しいパスポートに就労ビザを付す（無査証での入国のスタンプを押されていた場合は記載を変更してもらう。）ことが必要となります。

## 第5章 手続機関一覧

以下では、前章までで説明したビザ申請手続等を管轄する主な機関の住所・連絡先をご紹介します。

### 1 Bureau of Immigration (BI)

(1) 所在地

Bureau of Immigration Head Office, Magallanes Drive, Intramuros, Manila, Metro Manila, Philippines

(2) ウェブサイト URL

<http://www.immigration.gov.ph/>

(3) 電話番号 (代表)

(02)465-2400

(4) メールアドレス (代表)

[xinfo@immigration.gov.ph](mailto:xinfo@immigration.gov.ph)

[immigPH@gmail.com](mailto:immigPH@gmail.com)

☆ 1つ目のアドレスが本来のものですが、2015年3月現在システムアップデートのため不通となっており、2つ目のGmailのアドレスが使用されています。

### 2 Department of Labor and Employment (DOLE)

(1) 所在地

Department of Labor and Employment (DOLE) Building, Muralla Wing cor. General Luna St., Intramuros, Manila, 1002, Philippines

(2) ウェブサイト URL

<http://www.dole.gov.ph/>

(3) 電話番号 (代表)

(02)527-8000

(4) メールアドレス (代表)

[secrdb@dole.gov.ph](mailto:secrdb@dole.gov.ph)

### 3 Securities and Exchange Commission (SEC)

(1) 所在地

Securities and Exchange Commission, Edsa Mandaluyong 1556 Metro Manila, Philippines

(2) ウェブサイト URL

<http://www.sec.gov.ph/>

(3) 電話番号（代表）

(02)584-0923

(4) メールアドレス（代表）

[inquiry@sec.gov.ph](mailto:inquiry@sec.gov.ph)

#### 4 Philippine Economic Zone Authority (PEZA)

(1) 所在地

PEZA Building Roxas Boulevard corner San Luis Street Pasay City, Metro Manila

(2) ウェブサイト URL

<http://www.peza.gov.ph/>

(3) 電話番号（代表）

(02) 551-3451

(4) メールアドレス（代表）

[info@peza.gov.ph](mailto:info@peza.gov.ph)

#### 5 在日本フィリピン共和国大使館

(1) 所在地

東京都港区六本木 5-15-5 （大使館（東京））

大阪府大阪市中央区城見 2-1-61 （在大阪・神戸フィリピン総領事館）

(2) ウェブサイト URL

<http://tokyo.philembassy.net/>

(3) 電話番号（代表）

(03) 5562-1600 （大使館（東京））

(06) 6910-7881 （在大阪・神戸フィリピン総領事館）

(4) メールアドレス（代表）

公表アドレスはありませんが、下記 URL のフォームから連絡することが可能です。

<http://tokyo.philembassy.net/ja/contact-info/feedback-form/>

#### 6 在フィリピン日本国大使館 (Embassy of Japan in the Philippines)

(1) 所在地

2627 Roxas Blvd., Pasay City, Metro Manila, 1300, Philippines （大使館（マニラ））

7th Floor, Keppel Center, Samar Loop cor. Cardinal Rosales Avenue, Cebu Business Park, Cebu City （在セブ領事事務所）

Suite B305 3rd Floor, Plaza de Luisa Complex, 140R. Magsaysay Avenue, Davao City, 8000 （在ダバオ領事事務所）

(2) ウェブサイト URL

[http://www.ph.emb-japan.go.jp/index\\_japanese\\_version.htm](http://www.ph.emb-japan.go.jp/index_japanese_version.htm)

(3) 電話番号（代表）

(02) 551-5710 （大使館（マニラ））

(032) 231-7321 （在セブ領事事務所）

(082) 221-3100 （在ダバオ領事事務所）

(4) メールアドレス（代表）

[ryoji@ma.mofa.go.jp](mailto:ryoji@ma.mofa.go.jp) （大使館（マニラ））

[cebucoj@ma.mofa.go.jp](mailto:cebucoj@ma.mofa.go.jp) （在セブ領事事務所）

[cojd2@ma.mofa.go.jp](mailto:cojd2@ma.mofa.go.jp) （在ダバオ領事事務所）

なお、日本国内からフィリピン国内に電話をかける場合は、フィリピンの国番号である 63 を最初に押し、地域番号（上記括弧書き）冒頭の 0 を省いてダイヤルするようにして下さい。

## 第6章 根拠条文

本章では、第2章及び第3章で説明した、9(g)ビザ、9(d)ビザ、PEZA ビザ及び9(a)ビザの根拠となっているフィリピンの法律・規則の条文をご紹介します。

### 1 Commonwealth Act 613 (The Philippine Immigration Act of 1940) 抜粋 NONIMMIGRANTS

**Sec. 9.** Aliens departing from any place outside the Philippines, who are otherwise admissible and who qualify within one of the following categories, may be admitted as nonimmigrants:

- (a) A temporary visitor coming for business or for pleasure or for reasons of health;
- (b) A person in transit to a destination outside the Philippines;
- (c) A seaman serving as such on a vessel arriving at a port of the Philippines and seeking to enter temporarily and solely in the pursuit of his calling as a seaman;
- (d) Alien businessman. - An alien entitled to enter the Philippines under and in pursuance of the provisions of a treaty of commerce and navigation:
  - (1) solely to carry on substantial trade principally between the Philippines and the foreign state of which he is a national; or
  - (2) solely to develop and direct the operations of an enterprise in which, in accordance with the Constitution and the laws of the Philippines he has invested or of an enterprise in which he is actively in the process of investing, a substantial amount of capital; and his wife, and his unmarried children under twenty-one years of age, if accompanying or following to join him, subject to the condition that citizens of the Philippines are accorded like privileges in the foreign state of which such alien is a national;
- (e) An accredited official of a foreign government recognized by the Government of the Philippines, his family, attendants, servants, and employees;
- (f) Higher than high school. - A student, having means sufficient for his education and support in the Philippines, who is at least eighteen years of age and who seeks to enter the Philippines temporarily and solely for the purpose of taking up a course of study higher than high school at a university, seminary, academy, college or school approved for such alien students by the Commissioner of Immigration;
- (g) Prearranged employment. - An alien coming to prearranged employment for



whom the issuance of a visa has been authorized in accordance with section twenty of this Act, and his wife, and his unmarried children under twenty-one years of age, if accompanying him or if following to join him within a period of six months from the date of his admission into the Philippines as a nonimmigrant under this paragraph. An alien who is admitted as a nonimmigrant cannot remain in the Philippines permanently. To obtain permanent admission, a nonimmigrant alien must depart voluntarily to some foreign country and procure from the appropriate Philippine consul the proper visa and thereafter undergo examination by the officers of the Bureau of Immigration at a Philippine port of entry for determination of his admissibility in accordance with the requirements.

#### IMMIGRATION VISAS FOR NON-QUOTA IMMIGRANTS

**Sec. 20.** In case of prearranged employment. - (a) A passport visa for a nonimmigrant referred to in Section Nine (g) of this Act who is coming to prearranged employment shall not be issued by a consular officer until the consular officer shall have received authorization for the issuance of the visa. Such authorization shall be given only on petition filed with the Commissioner of Immigration establishing that no person can be found in the Philippines willing and competent to perform the labor or service for which the nonimmigrant is desired and that the nonimmigrant's admission would be beneficial to the public interest. The petition shall be made under oath, in the form and manner prescribed by regulations, by the prospective employer or his representative.

**Filing of petition under oath.** - The petition shall state fully the nature of the labor or service for which the nonimmigrant is desired, the probable length of time for which he is to be engaged, the wages and other compensation which he is to receive, the reasons why a person in the Philippines cannot be engaged to perform the labor or service for which the nonimmigrant is desired and why the nonimmigrant's admission would be beneficial to the public interest.

**Accompanying documents.** - The petition shall be accompanied by a certified copy of any written contract or agreement entered into for the immigrant's service and shall contain such additional information as may be deemed material. Substantiation of all the allegations made in the petition shall be required and the allegations that no person can be found in

the Philippines willing and competent to perform the labor or service for which the nonimmigrant is desired and that the nonimmigrant's admission would be beneficial to the public interest shall be established beyond doubt by convincing and satisfactory evidence. The title "Immigration Visas for Non-quota Immigrant" shall be understood to refer only to section twenty-one of the same Act.

(b) Approval of petition. - If the Board of Commissioners finds that the petition complies with the requirements of the preceding paragraph and that the petitioner has established the facts entitling him to the authorization, the Board shall grant the petition and the Commissioner shall so inform the petitioner and promptly transmit authorization to the consular office at which the immigrant is to apply for a visa. Such an immigrant, upon receiving a visa and applying for admission into the Philippines, shall be exempt from the provisions of paragraph fourteen of section twenty-nine (a) of this Act excluding aliens coming to perform unskilled manual labor in pursuance of a promise or offer of employment.

#### SPECIAL PROVISIONS

**Sec. 47.** Notwithstanding the provisions of this Act, the President is authorized:

(a) When the public interest so warrants:

1. To waive the documentary requirements for any class of nonimmigrants, under such conditions as he may impose;
2. To admit, as nonimmigrants, aliens not otherwise provided for by this Act, who are coming for temporary period only, under such conditions as he may prescribe;
3. To waive the passport requirements for immigrants, under such conditions as he may prescribe;
4. To reduce or to abolish the passport visa fees in the case of any class of nonimmigrants who are nationals of countries which grant similar concessions to Philippine citizens of a similar class visiting such countries;
5. To suspend the entry of aliens into the Philippines from any country in which cholera or other infectious or contagious disease is prevalent;

(b) For humanitarian reasons, and when not opposed to the public interest, to admit aliens who are refugees for religious, political, or racial reasons, in such classes of cases and under such conditions as he may prescribe.

2 Executive Order No. 226 July 16, 1987 (The Omnibus Investments Code of 1987)  
抜粋

**Article 76.**Employment of Foreign Nationals. The provisions of law to the contrary notwithstanding, Export Processing Zone Authority, hereinafter referred to as the "Authority" may authorize an alien or an association, partnership, corporation or any other form of business organization formed, organized, chartered or existing under any law other than those of the Philippines, or which is not a Philippine national, or the working capital of which is fully owned or controlled by aliens to do business or engage in an industry inside the export processing zone.

Subject to the provisions of Section 29 of Commonwealth Act No. 613, as amended, an enterprise, a zone registered enterprise may employ foreign nationals in supervisory, technical or advisory positions for a period not exceeding five (5) years from its registration, extendible for limited periods at the discretion of the Authority: Provided, however, That when the majority of the capital stock of a zone registered enterprise is owned by foreign national, the positions of president, treasurer, and general manager or their equivalents may be retained by foreign nationals beyond the period set forth herein.

Foreign nationals employed within the purview of this Book, their spouses, and unmarried children under twenty-one years of age who are not excluded by Sec. 29 of C.A. No. 613, as amended, shall be permitted to enter and reside in the Philippines during the period of employment of such foreign nationals. They shall be issued a multiple entry visa, valid for a period of three years, to enter and leave the Philippines without further documentary requirements other than valid passports or other travel documents in the nature of passports. The validity of the multiple entry special visa shall be extendible yearly. Foreign Nationals who have been issued multiple entry special visas under this provision, as well as their respective spouses and dependents, shall be exempt from obtaining alien certificates and all types of clearances required by any government department or agency. For this purpose, the Commission on Immigration and Deportation and the authority shall jointly issue the necessary implementing rules and regulations.

A registered enterprise shall train Filipinos as understudies of foreign

nationals in administrative, supervisory and technical skills and shall submit annual reports of such training to the Board.

## 第7章 参考書式

本章では、前章までで参考書式として引用した、各種申請書のフォームやレターの作成例をご紹介します。

参考書式 1	AEP の申請内容について掲載された新聞記事の例
参考書式 2	AEP 申請書
参考書式 3	CGAF
参考書式 4	BI の Clearance Certificate 申請書
参考書式 5	ACR I-Card 申請書
参考書式 6	9(g)ビザ申請時に提出するレターの例
参考書式 7	9(g)ビザ申請時に提出する雇用主が雇用する外国人労働者の数について記載した書面
参考書式 8	主たる 9(g)ビザ保有者とその雇用主のジョイントレター
参考書式 9	PEZA ビザ申請書
参考書式 10	企業の代表者又は CEO からの PEZA 長官に対するレター
参考書式 11	9(a)ビザ申請用非移民査証申請用紙
参考書式 12	LSVVE 申請書
参考書式 13	ACR I-Card の更新申請書

以下の参考書式は以下の URL からダウンロードが可能

- ・ 参考書式 2  
<http://www.dole.gov.ph/pages/view/14>
- ・ 参考書式 3、4、5 及び 12  
<http://www.immigration.gov.ph/index.php/downloads/application-forms>
- ・ 参考書式 9  
<http://www.peza.gov.ph/index.php/downloads>
- ・ 参考書式 13  
<http://www.immigration.gov.ph/images/FORMS/Checklist/4AlienRegistration/BI%20FORM%202014-08-010%20Rev%201.pdf>

フィリピンにおける駐在員及び長期出張者用ビザ取得手続

2015年3月作成

---

作成者 ジェトロ（日本貿易振興機構）ビジネス展開支援部ビジネス展開支援課

ジェトロ マニラ事務所

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

Tel. 03-3582-5017

---

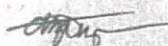
Republic of the Philippines  
**DEPARTMENT OF LABOR AND EMPLOYMENT**  
Regional Office No. IV-A  
3F Andenson Bldg. II, Brgy. Parian, Calamba City  
Telefax Nos.: (049) 545-7362  
March 04, 2015

**NOTICE OF FILING OF APPLICATION  
FOR ALIEN EMPLOYMENT PERMIT (AEP)**

Notice is hereby given that the following companies/employers have filed with this Regional Office application/s for Alien Employment Permit/s.

Name and address of Company/Employer	Name and Citizenship of Foreign National	Position and Brief Description of Function
[Redacted] CPIP, Batino, Calamba City, Laguna	[Redacted] Japanese	Production Manager
2. [Redacted] SEP-LTI, Sta. Rosa City, Laguna	[Redacted] American	Senior Equipment Manager
3. [Redacted] Bauan, Batangas	[Redacted] Australian	Project Procurement Manager
4. [Redacted] FPIP-SEZ, Sto. Tomas, Batangas	[Redacted] Japanese	Vice President
5. [Redacted] Laguna	[Redacted] Japanese	Foreign Technician-Lathe Machine
6. [Redacted] Brgy. San Rafael, Calaca, Batangas	[Redacted] Romanian	Electrical Commissioning Consultant

If you have any information/objection to the above-mentioned application(s) please communicate with the Regional Director.

  
**MA. ZENaida A. ANGARA-CAMPITA**  
Regional Director

To avail of free job referral, placement, and employment guidance services, visit the nearest Public Employment Service Offices (PESO) or log on at <http://www.phil-jobnet.dole.gov.ph>

P.S. March 4, 2015 AEP2015030315

実際には会社名が記載されています。

実際には個人名が記載されています。





NAME AND SIGNATURE OF COMPANY OFFICER

POSITION IN THE COMPANY

**AEP APPLICATIONS EVALUATION SHEET**  
**[To be accomplished by the DOLE Regional/Field Office]**

Name of Alien : \_\_\_\_\_  
Position/s : \_\_\_\_\_  
Nationality : \_\_\_\_\_  
Company : \_\_\_\_\_  
Address : \_\_\_\_\_  
AEP Number : \_\_\_\_\_ Validity : \_\_\_\_\_ Industry Code: \_\_\_\_\_

**I. CHECKLIST OF REQUIREMENTS**

(Original and other documents, when applicable, should be presented for validation. AEP Card must be surrendered to the issuing DOLE-Regional Office upon expiration of AEP or termination of employment.)

**DOCUMENTS SUBMITTED**

**[ ] NEW**

- Application Form duly accomplished
- Contract of Employment/ Appointment or Board Secretary's Certificate of election
- Photocopy of Employer's Mayor's Permit to operate business
- Photocopy of passport with visa or Certificate of Recognition for refugees
- if filed by a representative, authorization from the company or foreign national

**[ ] RENEWAL**

- Application Form duly accomplished
- Renewal of Employment Contract/Appointment or Board Secretary's Certificate of election
- Photocopy of Employer's Mayor's Permit to operate business
- Photocopy of passport with visa or Certificate of Recognition for refugees
- If filed by a representative, authorization from the company or foreign national

**II. EVALUATION AND ACTION TAKEN**

**1. ASSESSMENT AND EVALUATION OF APPLICATION**

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

RECOMMENDATION:

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
EVALUATOR

\_\_\_\_\_  
DATE RECEIVED

\_\_\_\_\_  
DATE RELEASED

**2. RECOMMENDATION [ ] FOR APPROVED [ ] OTHERS**

\_\_\_\_\_  
CHIEF

\_\_\_\_\_  
DATE RECEIVED

\_\_\_\_\_  
DATE RELEASED

**3. ACTION TAKEN [ ] APPROVED [ ] OTHERS**

\_\_\_\_\_  
REGIONAL DIRECTOR

\_\_\_\_\_  
DATE RECEIVED

\_\_\_\_\_  
DATE RELEASED

**III. PAYMENTS**

**AMOUNT**

**OFFICIAL RECEIPT No.**

**DATE**

Fees \_\_\_\_\_

Fines \_\_\_\_\_  
Date of Publication: \_\_\_\_\_ Newspaper \_\_\_\_\_



CONSOLIDATED GENERAL APPLICATION FORM FOR NON-IMMIGRANT VISA, SPECIAL WORK PERMIT AND PROVISIONAL WORK PERMIT [EXCEPT STUDENT VISA AND SSP]

Attach your 2x2 colored photograph with white background using permanent glue in the photograph box. The photograph must be taken within the last three (3) months from the date of application. A scanned photograph is not allowed. A photograph of the applicant wearing eyewear (i.e. sunglasses, colored contact lenses, etc.) or headwear is not acceptable.

I. APPLICATION INFORMATION

Present Immigration Status, Nature of Application, Type of Visa/Permit Application, Number of Months/Years Applied For, Method of Application, BI Accreditation Number, Name of Authorized Representative

Position in the Company/Institution

II. APPLICANT'S TRAVEL INFORMATION

Passport Number, Expiry Date/Valid Until, Place of Issuance, Date of Latest Arrival, Flight Number, Last Day of Authorized Stay

III. APPLICANT'S PERSONAL INFORMATION

Last Name, First/Given Name, Middle Name, Other Name(s)/Alias(es), Date of Birth, Gender, Country of Birth, Citizenship/Nationality, Civil Status, Height, Weight, Profession/Occupation, Contact Number(s) in the Philippines, Residential Address in the Philippines, Residential Address Abroad, Name of Spouse, Other Name(s)/Alias(es), Name(s) of Child(ren) and Date(s) of Birth

Note: If the applicant has more than two (2) children, use BI Form 2014-00-005 Rev 0

APPLICANT'S ACR I-CARD CLAIM STUB



Applicant's Name, ACR Number, Visa Type

[IF THE ACR I-CARD IS CLAIMED BY AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE, PLEASE SEE REVERSE SIDE FOR INSTRUCTIONS.]

CONSOLIDATED GENERAL APPLICATION FORM FOR NON-IMMIGRANT VISA, SPECIAL WORK PERMIT AND PROVISIONAL WORK PERMIT [EXCEPT STUDENT VISA AND SSP]

Character References in the Philippines

Last Name, First/Given Name, Middle Name

1 [Grid for name entry]

Residential Address in the Philippines

House/Unit No., Street, Subdivision/Village

[Grid for address entry]

Barangay, Municipality/City

[Grid for barangay entry]

Province, Zip Code

[Grid for province/zip entry]

Last Name, First/Given Name, Middle Name

2 [Grid for name entry]

Contact Number(s) in the Philippines

Landline

[Grid for landline number]

Mobile

[Grid for mobile number]

Residential Address in the Philippines

House/Unit No., Street, Subdivision/Village

[Grid for address entry]

Barangay, Municipality/City

[Grid for barangay entry]

Province, Zip Code

[Grid for province/zip entry]

Contact Number(s) in the Philippines

Landline

[Grid for landline number]

Mobile

[Grid for mobile number]

IV. PETITIONER'S INFORMATION

Name of Institution

[Grid for institution name]

[Grid for institution name]

Registration Number

[Grid for registration number]

Nature of Institution

Commercial  Religious  Others [Please specify] \_\_\_\_\_

Registered Address in the Philippines

House/Unit No., Street, Subdivision/Village

[Grid for address entry]

Barangay, Municipality/City

[Grid for barangay entry]

Province, Zip Code

[Grid for province/zip entry]

Contact Number(s) in the Philippines

Landline

[Grid for landline number]

Mobile

[Grid for mobile number]

V. APPLICANT'S OTHER INFORMATION

Position in the Organization

[Grid for position entry]

Alien Employment Permit (AEP) Number

[Grid for AEP number]

AEP Expiry Date/Valid Until [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

[Grid for AEP expiry date]

Expiration of Contract [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

[Grid for contract expiry date]

Actual Monthly Gross Salary in Philippine Currency

[Grid for monthly salary]

VI. ACR I-Card

Alien Certificate of Registration (ACR) Number

[Grid for ACR number]

Date of Issuance [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

[Grid for date of issuance]

Expiry Date/Valid Until [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

[Grid for expiry date]

Certificate of Residence Number (CRN)

[Grid for CRN number]

DO NOT FILL OUT THIS PORTION

Application Number

[Grid for application number]

Received/Recommended by: \_\_\_\_\_

Reviewed by: \_\_\_\_\_

Approved by: \_\_\_\_\_

CERTIFICATION

I/We certify that: (1) All the information in the application is truthful, complete and correct; (2) All documents are authentic and were legally obtained from the corresponding government agencies or private entities; (3) I/We understand that my/our application may be summarily denied if: (a) Any statement is false; (b) Any document submitted is falsified; or (c) I/We fail to comply with all the BI requirements without prejudice to whatever action the BI may take; and (4) I/We have not filed this or any similar application before any office of the Bureau.

Date [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

Petitioner's Signature over Printed Name

Applicant's Signature over Printed Name

Name of Representative, Accredited Travel Agency/Law Office, BI Accreditation No., Contact No., Residential /Office Address, Signature

ACR I-CARD WILL ONLY BE RELEASED UPON COMPLIANCE/SUBMISSION OF THE FF:

- 1. Photocopy of passport bio-page of the ACR I-Card holder
2. Valid ID of either parent claiming the ACR I-Card, if applicant is a minor
3. Photocopy of the BI-Accreditation ID card, if claimed by a travel agent or law firm
4. Special Power of Attorney (SPA), if claimed by an authorized representative other than the parent or BI accredited entity

ACR I-Card Holder: Signature over PRINTED NAME Claimant: Signature [Please call (+632) 525-7557 to check the status of your application]



REQUEST FOR BI CLEARANCE CERTIFICATE

Instructions

- 1. Use black ink only and do not leave any space blank. Write N/A if not applicable. Improperly/incompletely filled out application form will not be acted upon.
2. Attach a photocopy of the subject's passport bio-page or any valid government-issued ID card.
3. If the application is filed by an authorized representative, attach a photocopy of the Bureau of Immigration (BI) Accreditation Identification (ID) Certificate or an original Special Power of Attorney (SPA) for EACH applicant with a photocopy of a valid government-issued ID of attorney-in-fact.

SUBJECT'S PERSONAL INFORMATION

Form fields for personal information: Last Name, First/Given Name, Middle Name, Other Name(s)/ Alias(es), Date of Birth, Gender, Place of Birth, Citizenship/Nationality, Residential/Registered Address in the Philippines, Contact Number(s) in the Philippines.

Purpose: \_\_\_\_\_

Date [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

Signature over PRINTED NAME of the Requesting Party

Certification and Clearance Section (CCS) Window with RECEIVED and RELEASED fields.

[To be filled out by Authorized BI Personnel Only]



BI CLEARANCE CERTIFICATE CLAIM STUB

Name of SUBJECT'S [Last Name, First/Given Name, Middle Name], Date of Birth, Citizenship/Nationality fields.

Date & Time FILED and Date & Time RELEASED fields.

- Always present this claim stub upon claiming your certificate.
Unclaimed certificate shall be automatically cancelled after 30 days from the date of issuance.
If claimed by an authorized representative, present a Special Power of Attorney (SPA) and original valid government-issued ID.



BI FORM 2014-08-006 Rev 0 APPLICATION FORM FOR ALIEN CERTIFICATE OF REGISTRATION IDENTITY CARD (ACR I-CARD)

This document cannot be reproduced and is NOT FOR SALE

CONTROL NO:

APPLICATION NO:

I. GENERAL DETAILS

ACR Number, Date of Issuance, Place of Issuance

Official Receipt Number, Certificate of Residence Number (CRN)

II. APPLICANT'S INFORMATION

Name Prefix, Last Name, First/Given Name, Middle Name, Name Suffix, Other Name(s)/Alias(es)

DEROGATORY RECORD, IDENTITY VERIFIED, RECOMMENDING, REVIEWED BY, APPROVED BY

Visa/Travel Information

Visa Number, Date of Issuance, Name of Consulate, Admission Status, Length of Stay, Present Status

Travel Document Details

Passport Number, Date of Issuance, Expiry Date/Valid Until, Place of Issuance

Other Information

Previous ACR Number, Date of Issuance, Place of Issuance, Citizenship/Nationality, Previous Subject of

Contact Number(s) in the Philippines

Landline, Mobile, Email Address

Residential Address in the Philippines

House/Unit No., Street, Subdivision/Village, Barangay, City/Municipality, Province, Zip Code

Personal Description

Race, Height, Weight, Built, Distinguishing Marks, Blood Type, Eye Color, Hair Color, Complexion

Personal Information

Gender, Civil Status, Place of Birth, Date of Birth, Occupation



APPLICANT'S ACR I-CARD CLAIM STUB

Applicant's Name, ACR Number, Visa Type

[IF THE ACR I-CARD IS CLAIMED BY AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE, PLEASE SEE REVERSE SIDE FOR INSTRUCTIONS.]

APPLICATION FORM FOR ALIEN CERTIFICATE OF REGISTRATION IDENTITY-CARD (ACR I-CARD)

Name of Spouse [Last Name, First/Given Name, Middle Name]

Grid for spouse name

Spouse's Nationality

Grid for spouse nationality

ARE YOU PLANNING TO LEAVE THE COUNTRY WITHIN THIRTY (30) DAYS UPON ISSUANCE OF ACR I-CARD? YES NO

RP/SRC Number

Grid for RP/SRC number

RP/SRC Date of Issuance [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

Grid for RP/SRC date of issuance

RP/SRC Type

Grid for RP/SRC type

Expiry Date/Valid Until [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 19900]

Grid for expiry date

Father's Name [Last Name, First/Given Name, Middle Name]

Grid for father's name

AFFIDAVIT FOR PERSONS 14 YEARS OF AGE OR OVER

I have read the above statements or have had them read to me, and do hereby swear (or affirm) that these statements are true and complete to the best of my knowledge and belief; furthermore, that I have not filed any application for this purpose still pending or not given due course in another Immigration office.

(Signature of Witness in case Applicant does not know how to write)

(Signature of Applicant)

TIN :

SUBSCRIBED AND SWORN TO before me this \_\_\_ day of \_\_\_ 20 \_\_\_ at \_\_\_; Affiant/Applicant exhibiting to me his/her Passport/CTC No. \_\_\_ issued on \_\_\_ at \_\_\_.

(Registration Officer)

(Official Designation)

AFFIDAVIT FOR PARENT OR GUARDIAN ONLY

I am the parent of/guardian of/person responsible for the above-named alien who is under 14 years of age/insane and have made the above allegations for him/her. I have read or have had the same read to me, and do hereby swear (or affirm) that they are true and complete to the best of my knowledge, information or belief; furthermore, that I have not filed any application for this purpose in behalf of the above-named alien still pending or not given due course in another Immigration office.

(Signature of Witness)

(Signature of Parent, etc.)

TIN :

SUBSCRIBED AND SWORN TO before me this \_\_\_ day of \_\_\_ 20 \_\_\_ at \_\_\_; Affiant/Applicant exhibiting to me his/her passport/CTC No. \_\_\_ issued on \_\_\_ at \_\_\_.

(Registration Officer)

(Official Designation)

DOCUMENTS PRESENTED: (\*) Document to be retained and incorporated in the records.

- 1. \*Old ACR No. issued on at
2. ICR No. issued on at
3. CLR No. issued on at
4. Passport/CI No. issued on at
5. CTC No. issued on at

ACR I-CARD WILL ONLY BE RELEASED UPON COMPLIANCE/SUBMISSION OF THE FF:

Name of Representative
Accredited Travel Agency/Law Office
BI Accreditation No.
Contact No.
Residential /Office Address
Signature

- 1. Photocopy of passport bio-page of the ACR I-Card holder
2. Valid ID of either parent claiming the ACR I-Card, if applicant is a minor
3. Photocopy of the BI-Accreditation ID card, if claimed by a travel agent or law firm
4. Special Power of Attorney (SPA), if claimed by an authorized representative other than the parent or BI accredited entity

ACR I-Card Holder: Signature over PRINTED NAME Claimant: Signature
[Please call (+632) 525-7557 to check the status of your application]

(date)

**The Honorable Commissioner**

Bureau of Immigration  
Makati Office  
Board of Investments Building  
Sen. Gil Puyat Avenue,  
Makati City

Re: Application for Issuance of an  
Pre-Arranged 9(g) visa  
(company name)

Sir:

(company name), a foreign corporation duly registered and licensed to transact business in the Philippines with Principal office address at (address), hereby petitions for the issuance of Pre-arranged Employment [9(g)] visa in favor of (foreign employee's name). (Company name) is a corporation engaged in (insert description/primary purpose of the corporation)

The company certifies that the documents submitted in support of this application were all legally obtained from the corresponding government agencies.

In support of this application, we attach the following documents:

- 1 Duly accomplished CGAF(BI Form 2014-00-002 Rev 0);
- 2 Photocopy of the applicant's passport bio-page and latest admission with valid authorized stay;
- 3 Curriculum Vitae indicating educational background, work experience(s) and degree obtained by the applicant;
- 4 Photocopy of Appointment Letter with details of exact compensation and duration of employment and comprehensive description of the nature and scope of the applicant's position in the company;
- 5 Photocopy of Machine-validated Securities and Exchange Commission (SEC) Certificate of Registration; Articles of Incorporation; General Information Sheet (GIS) for the current year stamped received by the SEC;
- 6 Photocopy of petitioner's latest Income Tax Return (ITR) with the corresponding proof of payment (official receipt, bank teller's validity slip, BIR's eFPS payment details print-out or other similar evidence);



- 7 Tax Identification Number (TIN);
- 8 Certificate of No. of Foreign Employees;
- 9 Photocopy of Alien Employment Permit (AEP) issued by Department of Labor and Employment (DOLE);
- 10 Original or Certified true copy by the DOLE or by the publisher of the newspaper clipping showing publication of the application for AEP; and
- 11 BI Clearance Certificate.

Your usual prompt and favorable action to this request will be highly appreciated.

Very truly yours,

**(Company's name)**

**By:**

---

Atts.:as stated.

*CONFORME:*

**(foreign national's name)**  
(position)

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES  
DEPARTMENT OF JUSTICE  
BUREAU OF IMMIGRATION  
MAGALLANES DRIVE, INTRAMUROS  
1002 MANILA

**CERTIFICATION OF NUMBER OF FOREIGN EMPLOYEES**

This certifies that \_\_\_\_\_ has:  
(Name of Corporation/Partnership/Sole Proprietorship)

\_\_\_\_\_ (number) Filipino employees  
\_\_\_\_\_ (number) foreign employees

under its employment as of the time of filing our petition for Pre-Arranged Employment Visa (Commercial) under CA 613, Section 9(g), for:

Name: \_\_\_\_\_  
Date of Birth: \_\_\_\_\_  
Nationality: \_\_\_\_\_

This further certifies that all documents are genuine and secured legally from the appropriate government agencies.

IN WITNESS WHEREOF, I have hereunto affixed my signature this \_\_\_\_\_ day of \_\_\_\_\_ 2015 at \_\_\_\_\_.

\_\_\_\_\_  
(Signature over Printed Name)

\_\_\_\_\_  
(Position in the Company)

SUBSCRIBED AND SWORN to before me this \_\_\_\_\_ day of \_\_\_\_\_ 2015 at \_\_\_\_\_, affiant personally appeared and exhibited to me, as proof of identity, his Passport No. / ID No. \_\_\_\_\_ issued on \_\_\_\_\_ at \_\_\_\_\_.

Notary Public

Doc No. \_\_\_\_\_  
Page No. \_\_\_\_\_  
Book No. \_\_\_\_\_  
Series of 2015.

参考書式8

**The Honorable Commissioner**  
Bureau of Immigration  
Makati Office  
Board of Investments Building  
Sen. Gil Puyat Avenue  
Makati City

Re : Application for inclusion as Pre-Arranged Employment (9G) Visa  
Dependents Mrs. XYZ and children XYZ1, XYZ2

---

Dear Sir:

We respectfully file this application for our clients, ABC Corporation and Mr. XYZ.

ABC Company, Inc., is a corporation duly organized and existing under and by virtue of the laws of the Republic of the Philippines, with office address at \_\_\_\_\_ . Mr. XYZ is the Vice President for Operations of the ABC Company, Inc. and a holder of a Pre-Arranged Employment (9G) visa valid until \_\_\_\_\_ .

In this regard, we request for the inclusion under the 9G visa of Mr. XYZ, his dependents: spouse Mrs. XYZ, born on \_\_\_\_\_ in \_\_\_\_\_ and children XYZ1, born on \_\_\_\_\_ in \_\_\_\_\_ and XYZ2, born on \_\_\_\_\_ in \_\_\_\_\_ .

In support of this application, we attach the following documents:

- 1 Joint letter request addressed to the Commissioner from the applicant and the petitioner;
- 2 Duly accomplished CGAF (BI Form 2014-00-002 Rev 0);
- 3 Photocopy of Mr. XYZ passport bio-page and latest admission with valid authorized stay;
- 4 Photocopy of Mr. XYZ ACR I-Card (front and back portion);
- 5 Photocopy of dependents' passports bio-page and latest admission with valid authorized stay;
- 6 Marriage Certificate/Marriage Contract of Mr. XYZ and Mrs. XYZ;
- 7 Birth Certificate of XYZ1 and XYZ2;
- 8 Photocopy of Mr. XYZ's 9g visa implementation valid until \_\_\_\_\_ stamped on page \_\_\_\_\_ of his passport; and
- 9 BI Clearance Certificate.

We hereby certify that the documents submitted in support of this application were all legally obtained from the corresponding government agencies.

Your usual prompt and favorable action on this application will be highly appreciated.

Very truly yours,

**ABC COMPANY, INC.**

By:

\_\_\_\_\_  
President

CONFORME:

**MR. XYZ**  
Vice President for Operations

Atts.:as stated.

**Republika ng Pilipinas**  
**KAGAWARAN NG KATARUNGAN**  
**Department of Justice**  
**Manila**

**APPLICATION FOR ISSUANCE OF VISAS, OR FOR CHANGE OF  
 ADMISSION STATUS, TO, OR FOR EXTENSION OF STAY AS,  
 SPECIAL NON-IMMIGRANT UNDER SECTION 47(A)(2) OF THE  
 PHILIPPINE IMMIGRATION ACT OF 1940, AS AMENDED.**

The undersigned, for and in behalf of the foreign national named below, hereby applies for his/her admission as /change of admission status to/extension of his/her stay, as special non-immigrant under Section 47(a)(2) of the Philippine Immigration Act of 1940, as amended, and in support thereof submits the following information and representation..

I. 1) Name of Applicant/Sponsor: \_\_\_\_\_

a) Address: \_\_\_\_\_ Tel. No: \_\_\_\_\_

b) Nature of Business Employment or Activity:  
 \_\_\_\_\_

2) Name of Foreign National: \_\_\_\_\_

a) Date of Birth: \_\_\_\_\_ Place of Birth: \_\_\_\_\_

b) Sex: \_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_ Civil Status: \_\_\_\_\_

c) Nationality: \_\_\_\_\_ Passport No: \_\_\_\_\_

d) Position/Nature of Employment: \_\_\_\_\_

e) If married:

Name of Spouse: \_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_

Name/s of Children: \_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_

f) Will the spouse and unmarried minor children join the Foreign National?

( ) No ( ) Yes When? \_\_\_\_\_

3) Foreign National's previous residence for the past five (5) years:

---

---

---

---

---

4) Date of Arrival and Length of Stay:

---

5) Expected Date of Arrival (if for issuance) and Length of Stay.

---

6) Educational Background, Training and Experience:

---

---

---

7) Undertaking of Employer/Sponsor:

- a) Applicant Employer/Sponsor shall notify the Department of Justice of the termination of employment/training of the Foreign National within three (3) days after such termination.
- b) Applicant Employer/Sponsor shall likewise assume responsibility for the voluntary departure of said Foreign National upon termination of employment/training:

**II. Documents to be submitted:**

1. For supervisors, specialists, consultants, contractors, staff and dependents:

- a) Valid passport/s of foreign national and his/her dependents, if any, subject of the application, and when required by the Department of Justice, his/her/their re-entry permit/s to port of embarkation or country of origin.

- b) Certificate of Registration issued by appropriate agency, of the Employer/Sponsor, if engaged in business.
- c) Certification from the applicant Employer/Sponsor that the prospective special non-immigrant is being admitted to the Philippines pursuant to a contract entered into by the former with a government office/agency or subdivision or private firm.
- d) Confirmation of appropriate agency or private firm utilizing the Foreign National's services.
- e) Certification by Employer on the number of personnel employed in the same category as that of the subject Foreign National and their nationalities.
- f) Copy of the Contract/Agreement entered into by the employer/sponsor of the prospective special non-immigrant with a government office, agency or subdivision or a private firm.
- g) Marriage Contract for dependent spouse.
- h) Birth Certificate/s for dependent child/ren.
- i) Affidavit of Support and guaranty of return fare by the sponsor/applicant if spouse or dependent child is included in the application.

Done in the City/Province of \_\_\_\_\_ Philippines, this \_\_\_\_\_ Day of \_\_\_\_\_, 2001.

\_\_\_\_\_  
(Applicant)

**REPUBLIC OF THE PHILIPPINES)**  
**CITY/PROVINCE OF \_\_\_\_\_) S.S.**

SUBSCRIBED AND SWORN to me before me this \_\_\_\_\_ day of \_\_\_\_\_, 2001, in the City/Province of \_\_\_\_\_, affiant exhibited to me his/her ACR or Passport No. \_\_\_\_\_ issued at \_\_\_\_\_ on \_\_\_\_\_, 2001.

\_\_\_\_\_  
**NOTARY PUBLIC**  
Until December 31, 2001

Doc. No. \_\_\_\_\_;  
Page No. \_\_\_\_\_;  
Book No. \_\_\_\_\_;  
Series of 2001 \_\_\_\_\_;

(To be Printed in Company Stationery)

Date: \_\_\_\_\_

**Director General LILIA B. DE LIMA**  
Philippine Economic Zone Authority  
San Luis Street corner Roxas Boulevard  
Pasay City

**ATTENTION: PEZA Central Office Foreign National Unit**  
Enterprise Assistance Group

Dear Director General De Lima:

Our company respectfully requests the assistance of the Philippine Economic Zone Authority in facilitating the issuance of a **Special Non-Immigrant or 47(a)(2) Visa** for the **Investor / Non-Resident Alien Employee** [Note: Choose one and delete the other, including this note], whose name is given below:

Name of Applicant : (Mr./Ms.)

Title/Position :

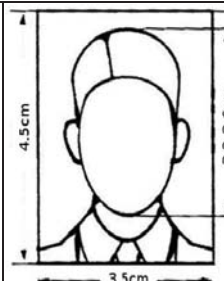
In this connection, I hereby, certify to and commit to undertake the following:

1. Employment of the non-resident alien is required in the operations of the company;
2. The non-resident alien to be employed has no derogatory record nor pending case against him in his domicile (i.e., country of citizenship), in the Philippines or any other country where the said foreign national has resided for the last five (5) years;
3. The enterprise shall undertake an Understudy Program for training Filipino workers to effect transfer of appropriate technology on aspects of its operations for which the non-resident alien is being proposed for employment;
4. The enterprise shall secure PEZA clearance before allowing the non-resident alien employee to transfer employment to any company and/or take up any other job, in addition to the one he is employed for;
5. The enterprise shall notify the DOJ, through PEZA, within three (3) days of termination of the employment of the non-resident alien employee; and
6. The enterprise shall assume full responsibility for ensuring that the non-resident alien employee leaves the Philippines upon termination of employment.

Very truly yours,

\_\_\_\_\_  
(President/CEO)



F A Form No.2 (Revised 1981) (Amended Oct. 1989)		<b>FOREIGN SERVICE OF THE PHILIPPINES</b> Embassy of the Republic of the Philippines Tokyo, Japan				
<b>APPLICATION FOR NONIMMIGRANT VISA</b> <b>非移民査証申請書</b>						
Surname 姓		First Name 名		Middle Name ミドルネーム		Gender 性別 (Male, Female)
Date of Birth 生年月日		Month 月	Day 日	Year 年		Age 年齢
Place of Birth 出生地		City 市		Province 県	Country 国	
Citizenship 国籍			If married, state name and address of spouse 既婚者の場合は配偶者の名前と住所			
Civil Status 婚姻事項 (Single, Married, Widowed, Separated, Divorced)						
Applicant's Address 現住所			Since いつから		Home Tel. No. 住居の電話番号	
Applicant's Registered Domicile 本籍						
Occupation 職業 (具体的に記入すること)			Since いつから		Business Tel. No. 勤務先の電話番号	
Names and Ages of Children 子供の名前と年齢						
Father's Name 父の名前			Mother's Name 母の名前			
Description of Travel Document 旅券又はそれにかわるもの						
Type 類別	No. 番号	Date of Issue 発行日		Place of Issue 場所	Valid Until 有効期限	
Other persons travelling to the Philippines with applicant under the same travel document or under separate travel document あなたと同一の旅券又は別の旅券と一緒に旅行する人の姓名						
Port of Entry 入国地		Purpose of Entry 旅行の目的			Length of Stay 滞在日数	
Address in the Philippines フィリピンでの住所			Destination after the Philippines フィリピン訪問後の渡航先			
References in the Philippines フィリピンの国内の連絡先						
Name: 名前			Address: 住所			
Supporting Documents offered for inspection 申請内容を立証する書類						
How many times have you visited the Philippines in the past twenty four (24) months? State dates and purposes. 最近二年以内にフィリピンを何回訪問しましたか? 具体的な出入国月日及び目的を記入して下さい。						
Were you ever refused any kind of visa for, denied admission into or deported/removed at government expense from the Philippines? あなたは今までに入国、あるいは入国査証を拒否されたり、国費でフィリピンから送還あるいは国外退去されたことがありますか? If Yes, State circumstances 事情を説明してください。						
I understand that I may only enter the Philippines at a Port of Entry designated by the Philippine Immigration Authorities and with the permission of and under the conditions imposed by those authorities. I solemnly swear that the foregoing statements are true to the best of my knowledge and belief. 私はフィリピン出入国管理当局で指定された入国地からのみ入国を許されること、および同当局の許可並びに定められた条件下でのみ入国を許されることを承知しております。上記の記載事項が私の知る限り、また信じる限り真実であることを誓います。						
Date 日付			Signature of Applicant 申請者の署名 (ローマ字)			
これより下は何も記入しないで下さい。						
Subscribed and sworn to before me this ____ day of _____, 20__						
_____ <b>Consul of the Republic of the Philippines</b>						
(For Official Use Only)						
Visa No. _____ Granted on _____, 20__ as non-immigrant under Section 9 ( ) of the Republic Immigration Act of 1940, as amended, Valid until _____, 20__ Fee Paid: _____ O.R. No.: _____ Service No.: _____ Remarks, if any: _____						
_____ <b>Consul of the Republic of the Philippines</b>						



**BI FORM 2014-00-004 Rev 0**  
**CONSOLIDATED GENERAL APPLICATION FORM**  
**FOR TOURIST VISA EXTENSION**

This document may be reproduced and is **NOT FOR SALE**

参考書式12

Attach your 2x2 colored photograph **with white background** using permanent glue in the photograph box.  
 The photograph must be taken within the last three (3) months from the date of application.  
 A scanned photograph is not allowed. A photograph of the applicant wearing eyewear (i.e. sunglasses, colored contact lenses, etc.) or headwear is not acceptable.

**I. APPLICATION INFORMATION**

Number of Months Requested

Number of Months Stayed in the Philippines

**Reason**

Pleasure

Health

Business

Others, please specify \_\_\_\_\_

With Valid Special Study Permit

With Valid Provisional Work Permit

With Other Pending Visa Application

**Method of Application**

Personal

Authorized Representative

Name of Authorized Representative [Last Name, First/Given Name, Middle Name]

BI Accreditation Number

**II. PERSONAL INFORMATION**

Last Name

First/Given Name

Middle Name

Other Name(s)/Alias(es)

1

2

Date of Birth [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

Gender

 M  F

Country of Birth

Citizenship/Nationality

Civil Status

Single

Married

Annulled

Height [cm]

Weight [kg]

Separated

Widowed

Divorced

**Registered Address in the Philippines**

House/Unit No., Street, Subdivision/Village

Barangay, Municipality/City

Province, Zip Code

**Residential Address Abroad**

House/Unit No., Street, Subdivision/Village

City, State

Country, Zip Code

**III. Travel Information**

Passport Number

Expiry Date/Valid Until [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

Place of Issuance

Date of Latest Arrival [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

Flight Number

**BI FORM 2014-00-004 Rev 0  
 CONSOLIDATED GENERAL APPLICATION FORM  
 FOR TOURIST VISA EXTENSION**

This document may be reproduced and is **NOT FOR SALE**

**IV. Character References in the Philippines**

Last Name, First/Given Name, Middle Name

1

**Residential Address in the Philippines**

House/Unit No., Street, Subdivision/Village

Barangay, Municipality/City

Province, Zip Code

**Contact Number(s) in the Philippines**

Landline

Mobile

Last Name, First/Given Name, Middle Name

2

**Residential Address in the Philippines**

House/Unit No., Street, Subdivision/Village

Barangay, Municipality/City

Province, Zip Code

**Contact Number(s) in the Philippines**

Landline

Mobile

**C E R T I F I C A T I O N**

I/We certify that: (1) All the information in the application is truthful, complete and correct; (2) All documents are authentic and were legally obtained from the corresponding government agencies or private entities; (3) I/We understand that my/our application may be summarily denied if: (a) Any statement is false; (b) Any document submitted is falsified; or (c) I/We fail to comply with all the BI requirements without prejudice to whatever action the BI may take; and (4) I/We have not filed this or any similar application before any office of the Bureau.

\_\_\_\_\_  
 Date [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

\_\_\_\_\_  
 Applicant's Signature over Printed Name

Recommending Approval

\_\_\_\_\_  
 Chief, Visa Extension Section

\_\_\_\_\_  
 Date [DD-MMM-YYYY e.g. 01 JAN 1990]

OPS / Derogatory Check	Implementation	Approved/Disapproved
Assessor	Implementor	Commissioner or Authorized Representative
Date	Date	Date



**APPLICATION FOR RENEWAL OF ALIEN CERTIFICATE OF REGISTRATION  
IDENTITY CARD (ACR I-CARD)**

Name of Representative \_\_\_\_\_  
Accredited Travel Agency/Law Office \_\_\_\_\_  
BI Accreditation No. \_\_\_\_\_  
Contact No. \_\_\_\_\_  
Residential /Office Address \_\_\_\_\_  
Signature \_\_\_\_\_

- ACR I-CARD WILL ONLY BE RELEASED UPON COMPLIANCE/SUBMISSION OF THE FF:**
- 1. Photocopy of passport bio-page of the ACR I-Card holder
  - 2. Valid ID of either parent claiming the ACR I-Card, if applicant is a minor
  - 3. Photocopy of the BI-Accreditation ID card, if claimed by a travel agent or law firm
  - 4. Special Power of Attorney (SPA), if claimed by an authorized representative other than the parent or BI accredited entity

ACR I-Card Holder: \_\_\_\_\_ Claimant: \_\_\_\_\_  
Signature over PRINTED NAME Signature  
[Please call (+632) 525-7557 to check the status of your application]